

ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区 関東東部

2016～2017 年度

# 関東東部部報

総集編



2017年11月10日

# 目 次

はじめに	1
1. 関東東部部活動方針と報告	2
関東東部役員・クラブ役員名簿	2
部長活動報告	3
地域奉仕事業主査活動報告	5
会員増強事業主査活動報告	5
国際・交流事業主査活動報告	6
ユース事業主査活動報告	7
メネット事業主査活動報告	8
2. 関東東部クラブ部活動方針と活動報告	9
東京江東クラブ活動報告	9
千葉クラブ活動報告	9-10
東京グリーンクラブ活動報告	10-11
埼玉クラブ活動報告	11
東京北クラブ活動報告	11-12
所沢クラブ活動報告	12-13
東京ひがしクラブ活動報告	13
川越クラブ活動報告	14
茨城クラブ活動報告	14-15
東京ベイサイドクラブ活動報告	15
3. 活動記録	16
3.1 第20回関東東部部会	16-18
3.2 関東東部評議会(第1回~3回)	19-20
3.3 EMC委員会協議記録	20-22
3.4 ユース例会活動記録	23-24
3.5 アンケート結果	25-28
おわりに	28
参考資料	29
参考資料-1 卓和者リスト	30
参考資料-2 HPの編集報告	31
参考資料-3 メーリングリスト活用状況	32
参考資料-4 2016-2017年度 関東東部会計監査報告	33-35

## はじめに

2016-17年度は、関東医東部20周年を記念した年度であったが、そのような年度において、関東東部の役員として活動をさせて頂けたことは大変光栄なことであったし、実に、有意義な1年間を皆様と共に過ごさせて頂き感謝だった。

本部報は、前年度の私の怠慢より、一度も発行することができなかった為、総集編として1年期の活動について、今後の関東東部の進展を期待しつつまとめさせて頂く。

## 2016～2017年度 活動主題

東日本区理事 利根川 恵子(川越)

理事主題：「明日に向かって、今日動こう」

(For the Future, Act Today!)

スローガン：「手を取り合って、今、行動！」

(Together, Let's Roll Now!)

関東東部部長 片山 啓(茨城)

主題 「組み合わされ、結び合わされて、  
造り上げられてゆく」

1. 関東東部部活動方針と報告

2015-2016年度 関東東部役員・クラブ役員名簿

関東東部役員一覧

役職	名前	クラブ名
部長	片山 啓	茨城
直前部長	鈴木 雅博	東京江東
次期部長	長尾 昌男	千葉
書記	稲本 修一	茨城
会計	井上 恒久	茨城
地域奉仕事業主査	村杉 克己	東京北
会員増強事業主査	柿沼 敬喜	東京グリーン
国際・交流事業主査	柳瀬久美子	茨城
ユース事業主査	青木 一芳	千葉
メネット事業主査	島田 京子	東京江東

関東東部クラブ役員一覧

クラブ名	会長	副会長	書記	会計(広報)
東京江東	相川 達男	小松 重雄 酒向 裕司	本間 剛	駿河 優子
千葉	長尾 昌男	三村 澄江	青木 清子	徳永 浩一
東京グリーン	浅見 隆夫	西澤 紘一	目黒 卓	平林 正子
埼玉	上松 寛茂	衣笠 輝夫	水無瀬隆造	小林 道明
東京北	辰馬 行男	村杉克己	村杉克己 金 秀男	磯部成文
所沢	栗原 成晃	大澤 和子	東 裕二	小関 京子
東京ひがし	鮎澤 正和	須田 哲史	金丸 満雄	野本多美子
川越	吉野勝三郎	林 京三 松川 厚子 牛村 永代	森下千恵子	山崎 純子
茨城	稲本 修一	柴川 林也 柳瀬久美子	村田 淳 金子 和雄	井上 恒久
東京ベイサイド	峯岸 友彦	藤原 宏隆	安齋 一徳 村田 拓彦 中道 幸子	岡田 光功 (佐竹 誠)



2016-2017 年度  
関東東部部長報告  
部長 片山 啓

### ○関東東部部長就任の抱負とご挨拶

私と YMCA の関わりは、約 30 年前の鎌倉 YMCA でのリーダー経験に始まります。当時、鎌倉 YMCA は、現在の駅前の喫茶店を改築する前で、教団教会の敷地内にあるプレハブで、ディレクターは現在横浜 YMCA 総主事の田口さんでした。当時、鎌倉 YMCA にはワイズはなかったと思います。

その後、社会人となり、国内を転々としながら海外部に赴任となり、部署のある筑波に移りました。

筑波では、妻と娘が与えられ、しばらくした後、同じ教会員の方に茨城ワイズのチャーターの誘いを受けました。このときに、初めて筑波に YMCA があることと、ワイズの存在を知りました。付き合いで入ってしまった私は、“お金持ちの道楽クラブに入ってしまったのでは”、そのような不安を抱えたまま、退会する機会ばかりを探していたように記憶をしています。あれから 10 年が経過し、退会をすることなく茨城クラブの 10 周年を会長として迎え、今回は関東東部 20 周年を部長として奉仕をさせて頂く事ことになりました。入会当初には、想像もしていなかったことが、今、進行しています。不思議なことだと感じています。

今年度の関東東部は、理事輩出 する部として、利根川理事のサポートを第一に、活動を進めていく所存です。また、現在、第 1 回評議会に向け準備を進めてお りますが、関東東部の主査の皆さんからは、実に積極的な事業方針の提示を受けております。さらに、部長訪問も毎回 2 名から 5 名もの主査の皆さまがご同行をして頂けるなどと、皆、私がお声掛けをさせて頂いた方々ですが、これほどまでご協力をして頂けるとは考 えてもおりませんでした。感謝です。

与えられたこの 1 年は、恵まれたスタッフや関東東部の会員の皆さまと共に、恵みの時間を共有させて頂きながら、各個クラブと私たち個々が「組み合わせられ、結び合わされ、創り上げられてゆく」ことを、既に確信をし、期待をしているところであります。どうぞ、皆様、今年度も、関東東部の働きと活躍に期待をしていてください。そして、関東東部を、どうぞよろしく お願い致します。

### 部長主題

「組み合わせられ、結び合わされて、造り上げられてゆく」

### 活動方針

クラブ間の協力体制を確立し、クラブ間の連携と協働を進め、クラブの活性化と成長を図ると共に、各クラブ

と関東東部の連携も深め、関東東部全体の発展を目指す。

同時に YMCA との協力関係を見直し、具体的な協力関係強化に向けた施策の検討と連携強化に努める。そして、これらを 20 周年記念部会に組み込み、実施する。

以上の活動方針を理事方針の重点 4 項目と共に実行し、関東東部として理事を積極的に支える。

### ○理事方針の重点目標から見た私たちの目標

#### (1) クラブ拡張と会員増強

- ・会員数 1,000 名突破を目指そう

→現在 950 名なので、関東東部は 15 名以上の純増を目指す。

- ・新しいクラブを少なくとも 2 クラブ作ろう

→今年度は難しいが中長期的な視点で検討を進める。

- ・各クラブは退会者ゼロ、純増 2 名を目指そう

→各クラブへの負担が大きいので、1 項目目の部の目標を優先して実施する。

#### (2) 部の強化・活性化

- ・役員（部長、書記、会計、各事業主査）の働きを強めるため、部内の研修を充実しよう

→部と各クラブ、及び各クラブ間の連携・連動の強化を進める。具体的には、部長訪問や記念部会の活用、及び H P の有効活用やメーリングリストを作成し活用する。

- ・部長選出方法を見直そう

→既に改定済みで、スムーズな移行を実施する。

- ・部長公式訪問、部会の充実を図ろう

→公式訪問は、各主査と連携して挨拶だけではなく、部会への P R と理解、話し合いの時間を頂いて各クラブの課題や要望などを聞く時間をもつ。部会前の 8 月～9 月で全てのクラブを回り目標に沿った活動を推進する。部会は、20 周年記念部会として特別プログラムを組み充実した会を成功させる。

#### (3) YMCA との協働の強化

- ・ワイズメンの YMCA 会員率 100% を目指そう

→各クラブで推進して頂き、評議会と年度末に状況報告をして頂く。

- ・YMCA と「協力関係の原則」を結ぶなど、相互の協力関係を確認しよう

→各クラブで相互協力について検討をして頂き、評議会に報告をして頂く。また、部会においても、YMCA の課題や今後の展望について共有し、今後の協力体制のあり方を模索する。

#### (4) スリムな区の運営

- ・部の強化・活性化と財政状況改善のため、区運営の 3S (Simple Slim Speed) を促進しよう

→部の強化・活性化は上記の方策を実施することで可能だと判断できる。関東東部の財政状況は健全であるが、部費の有効活用を考える。

- ・部、クラブでも、3S (Simple Slim Speed) の観点から運営を見直そう

→部としては、各クラブとの連携の強化が 3 S に繋がると考えている。各クラブでも 3 S の観点から目標を立てて頂く。

## ○活動報告

### 部長公式訪問

第1回目の部長公式訪問を、全てのクラブに対して、下表に示すとおり部会前に実施し、区と部及び各事業の活動方針と記念部会について説明を行い部員の理解を深めた。主査が欠席の事業については、事業の主査の代わりに説明を行った。

### 他の部の部会への参加

他の部との交流と理解、さらに関東東部の部会への参考とするため、以下の部会に参加をした。尚、湘南・沖縄部、東新部、あずさ部の各部会については海外出張期間と重なったことから残念ながら参加を見送らせて頂いた。

- ・北海道部会（十勝、8/27）、北東部部会（盛岡、9/17）、富士山部部会（富士、9/25）

### 20周年記念部会の開催

10/15（土）につくば国際会議場と筑波グランド東雲にて、71名の参加者により関東東部の20周年記念部会を実施した。主題は、20年を考える Past, Today, Future、副題に「ワイズのこれまでの20年間を振り返り、今を見極め、これからの20年をYMCAと共に考えよう」とし、理事の重点目標である“YMCAとの協働の強化”と部の活動方針を意識し、前年度から準備委員会を立ち上げ準備を進めてきた。

講師には、元APAY総主事の山田公平さんによる「若者たちの未来とワイズメン」、および日本YMCA同盟国内協力部主任主事補佐の有田征彦さんにより「ブランドコンセプト発表」について講演をして頂いた。その後、クラブ間での合同例会を兼ねた分団を行い、建設的な協議の時間を持つことができた（「3.活動記録 3.1 第20回関東東部部会」参照）。

また、懇親会でも、各クラブからの発表の時間をもち、バンドコンサートにはワイズソングを入れて参加者と歌い、最後は、各クラブに部から20周年記念品を配布し、無事、終わることができ感謝であった。

### ENC委員会の開催

- 1) 第1回目のEMC委員会を9/3（土）に柿沼敬喜会員増強事業主査の主導により、東陽町センターにて8クラブの代表を集め行われた。多くの実りある議論が行われた。
- 2) 第2回目のEMC委員会を11/19（土）に柿沼敬喜会員増強事業主査により、東陽町センターにて部長以下主査と9クラブの代表の計14名で協議、

以下の今後の方向性を確認した。

### ○会員増強について

- ・会員増強の対象者を層別して（例：YMCAに通う子供の親、リーダーOB、教会関係者、定年退職者など）、対象グループ別に対策を立てる。
- ・あらゆる機会に「ワイズ理解」をもっと広くかつ深める。
- ・会員個人とクラブが一体となった組織的な取り組みを強化する。

### ○維持啓発活動について

- ・YMCAについての理解不足が退会の要因にならないように努める
- ・新入会員（入会3年間）に対しては、特別のフォローをしていく。

### ○クラブ拡張活動について

- ・柏と浦安地区を中心に具体的な方策を検討することで合意。
- ・主体的に動く担当として、柏地区は千葉クラブと東京グリーンクラブが、また、浦安地区は江東クラブと東京ベイサイドクラブを選出。

- 3) 第3回EMC委員会では、以下に示すように関東東部全クラブから17名の参加があり活発な意見交換があった。

日時:2017年4月1日(土)15:00~17:00、場所:東京YMCA 東陽町センター218号室

(「3.活動記録 3.3 EMC委員会協議記録」参照)。

### ユース活動

青木一芳ユース事業主査により、各クラブにおいて以下の「ユース例会」を開催し、ユース事業理解を図った（「3.活動記録 3.4 ユース例会活動報告」参照）。

- ・ユースの活動（IYC, AYC）などに対し、他の部と異なり関東東部には支援規定がなく、参加者間の不平等に繋がっている。このため、部からの支援基金に向けた部則改定を決定。

### ○今期の活動目標に対する成果と今後の課題

- (1) クラブ拡張と会員増強
  - ・2名減となったが、柿沼敬喜会員増強事業主査の主導によりEMC委員会を3回実施した。
  - ・新クラブの候補地の選定や会員増強に向けた意識の共有と課題を確認し、次期以降も継続することで今後必ずや成果が出るものと確信をしている。
- (2) 部の強化・活性化
  - ・各クラブに対する要請ばかりではなく、部自体も極力動き発信をし、提案を重ねながら硬直していた組織に対して一定の刺激を与えることができた。

クラブ名	訪問日	時間	会場	片山	村杉	柿沼	柳瀬	青木	島田
東京江東	9/15(木)	19時	江東YMCA	○	×	○	×	×	×
千葉	8/20(土)	18時	千葉YMCA	○	○	○	×	○	×
東京グリーン	7/20(水)	18時30分	和泉橋区民会館	○	×	○	×	○	×
埼玉	8/22(月)	18時	浦和区小峰ビル	○	×	○	○	○	×
東京北	8/17(水)	18時30分	神谷バー	○	○	×	○	○	×
所沢	9/10(土)	16時	所沢センター	○	○	○	○	×	×
東京ひがし	8/6(土)	16時	今井商店イーズ	○	○	○	○	×	×
川越	7/30(土)	16時	埼玉YMCA	○	○	○	×	○	×
茨城	8/26(金)	19時	茨城YMCA	○	保留	×	○	○	×
東京ベイサイド	9/24(土)	10時	しののめこども園	○	○	×	○	○	×

**地域奉仕事業活動計画と報告**  
**地域奉仕事業主査 村杉克己(東京北)**

- ・部の HP を見直し、HP を見ればワイズの組織や考え活動などを、訪問者に理解して頂ける様に改めた。さらに、各クラブの紹介ページやクラブの活動予定のカレンダーを設け、各クラブにおける EMC や CS 活動をサポートできる大きなツールとしての整備を進めた(「参考資料-2HP の編集報告」参照)。
  - ・関東東部の部とクラブ、及びクラブ間の連携強化に向けて、関東東部独自の ML (k\_yscom) を開設、会員全員を登録。今後、有効利用を進め、部やクラブのさらなる活性化が期待される(「参考資料-3 メーリングリスト活用状況」参照)。
  - ・卓話者リストを作成し、例会の充実を関東東部内で協力して進める体制作りを推進した(「参考資料-1 卓和者リスト」参照)。
  - ・会員向けアンケートを実施し、会員からのアイデアの吸収と課題の明確化に努めた。今後の部の中長期的な視点での活性化に向けた対策と検討への資料としての活用が期待される(「3 活動記録 3.5 アンケート結果活動記録」参照)。
  - ・評議会では、審議案のみで協議の場が少なかったことから、評議会前に協議案を収集し、審議以外に協議の時間を確保するように改めた。
- (3) YMCA との協働の強化

- ・20 周年記念部会を、元 APAY 総主事の山田公平さんと、日本 YMCA 同盟国内協力部主任主事補佐の有田征彦さんをお招きし YMCA との協働について議論を行った。
  - ・青木一芳ユース事業主査主導により、各クラブでユースを主題としたユース例会を実施し、ユース理解とユースに対するワイズの PR を推進することができた。
  - ・YMCA 会員率を評議会ですべて発表をして頂き、クラブの意識を高める努力等を行った。
  - ・関東東部の 30 周年記念に向けた基金とユース支援に関する基金の運用を次期から開始することを決定した。
- (4) スリムな区の運営
- ・部報や部会案内を、これまで印刷して郵送していたものを、pdf をメールにて配信する形に改めた。
  - ・過去数年間、単年度で見た場合、部の会計は繰越金を見込むことで赤字決算を繰り返してきた。これを、今年度は繰越金を期待せずに、上記のような合理化を進めたことで、今年度は単年度決算で黒字にて終わることに成功した。

**★今期の課題と今後の期待**

- ・EMC 委員会による議論は進めているが、今期の会員維持も厳しい状況にある。
- ・昨年の後半から年始まで海外への出張が続き、加えて部書記の交代なども重なり、部内のメーリングリスト(K\_yscom)や関東東部の HP、及び卓話リスト等の整備が遅れてしまった。
- ・部報の発行を年度内に行う事ができなかった。
- ・部からの発信が多く、各クラブへの負担も大きくなった。

**○ 主査主題**

「EMC に繋がる地域奉仕活動の展開を」

**○ 今期の目標**

東日本区区事業主任主題「EMC に繋がる地域奉仕活動の展開を」に沿いながら、関東東部地域奉仕事業をすすめて行く。

**○ 課題と対策**

① YMCA サービス事業(強調月間 7 月)

- ・各クラブメンバーは、各 YMCA の会員となる。
- ・各 YMCA のプログラムには、クラブ一丸となって参加する事により、YMCA 運動、ワイズメンズクラブ運動の意識を高める。

② ASF 事業(強調月間 7 月)

- ・YMCA 若手主事育成支援。
- ・ASF 献金一人当たり 500 円以上の献金を。

③ CS 事業(強調月間 8 月)

- ・地域社会・隣人奉仕活動、各クラブの取り組んでいる地域奉仕活動に、より積極的に取り組んでいくよう。新規プログラムの開発には、部 CS 資金の活用を。新規プログラムには 50,000 円・継続プログラムには 30,000 円
- ・CS 献金一人当たり 1,250 円以上の献金を。

④ FF 運動(家庭での断食)(強調月間 11 月)

- ・FF 献金一人当たり 500 円以上の献金を。

⑤ 区方針による区事業に積極的に参加する。

- ・CS 活動写真コンテスト。
- ・私の CS 自慢(電気料金の発展型)ECO だけでなく、一見無駄と思えるような奉仕活動の募集。

⑥ 東日本大震災・熊本地震への支援活動を継続する。

⑦ 部長公式訪問同行で、より部内の地域奉仕活動を知り、他クラブにも知らせることにより、関東東部共有の働きとしたい。

**○ 目標に対する活動状況**

- ・「EMC に繋がる地域奉仕活動」の展開
- ・「新春ゴミ拾い! ドリーム・ジャンボ・ゴミ拾い」しのめ YMCA こども園の、園児・父母、100 名を超える参加でした。  
2017 年 1 月 14 日(土)実施  
<東京ベイサイドクラブ>
- ・「狭山丘陵ウォーク〜トトロの森でお花見しましょう」2017 年 4 月 8 日(土)実施 <所沢クラブ>  
\* 関東東部 CS 事業資金を支給。

**会員増強事業活動計画と報告**  
**会員増強事業主査 柿沼敬喜(東京グリーン)**

**○ 主題**

「一期一会を大切にして、ワイズの輪を広げよう」

**○ 今期の目標**

- ① E (クラブ拡張) : 2 クラブ以上→中長期的な視点で検討を進める。
- ② M (会員増強) : 各クラブ純増 2 名→ 部目標 : 純増 15 名以上。
- ③ C (維持啓発) : 各クラブ退会者ゼロを目指す。

## ○ 関東東部における問題点・その対策、戦略

- ① EMC活動のクラブ間および部とクラブとの連携と協働を強めるために10クラブのEMC事業委員による合同委員会(仮称)の設立を計る。(第1回合同委員会:9/3(土)17:30~19:30 東京YMCA東陽町センター)
- ②クラブの状況に応じた活動推進遂行の参考として、各クラブの会員異動情報の共有化を計る。→部として情報を整理して10クラブへ配信する。(各クラブ会長へのお願い事項)  
部長およびEMC主査への「会員異動報告書」提出時に、その入退会のきっかけ・理由等をわかる範囲でメモを添付して下さい。(200字程度)
- ③ EMC-C活動として、特に退会者が多い傾向の新入会員(入会3年まで)を念頭に入れて、入会時のオリエンテーションの充実、入会後のフォローの強化および部会や区大会へ積極的に参加を促す策を計る。

## ○主題に対する主な活動やトピック

関東東部10クラブとのEMC事業合同委員会を開催した。

第1回:9月3日・各クラブの今期EMC活動計画の発表と課題の抽出

第2回:11月9日・抽出した課題の絞り込みを行い、部としての方向性を確認。

第3回:4月1日・各クラブの実施報告と次期への引継ぎ事項等の発表

第2回合同委員会にて確認された今後の方向性に則り、EMC活動の実行に当たっての部・クラブ・会員個人各々の役割分担(案)を第3回の協議内容を基に策定した。

## ○会員増強について

- ① 会員個人としては、日常より危機感と強い意識を持って行動し、候補者との初めの接点は個人的なつながりから生ずることが多いので常に候補者探しに目配り、気配りを怠らぬこと。
- ②クラブとしては、ゲスト、卓話者を歓待するはもとより「楽しい例会・魅力あるプログラム作り」を心掛ける。また、あらゆる機会にワイズのPRに努めること。

## ○維持啓発活動について

クラブとして、新会員の入会時には必ずオリエンテーションを行うと共に入会後のフォローは紹介者なる会員が責任をもって行っていくこと。

## ○クラブ拡張活動について

部とクラブが一体となって、まずは、狙いの地区(柏・浦安)のキーマン探しにYMCAの各拠点への働き掛けを行うと共にワイズメンバー、YMCA会員等にも広く情報収集を求めていくこと。

## ○主査の活動における問題点と対策

部としての今後の方向性の確認は出来たが、実行に向っての具体的な煮詰めが不十分。→やるべき具体策について5W1H手法等を駆使して煮詰めていく。

## ○クラブや部に対する要望等(クラブ)

会員増強事業活動には、クラブ例会が大きな役割を担っているため、例会の更なる充実を図って貰いたい。

(部)

クラブによっては、例会にYMCAの担当主事の出席率が悪い状況が見受けられるので、各拠点のYMCA宛に「担当主事の例会への出席」への理解を得て貰いたい。

関東東部EMC合同委員会の開催について次期も継続を望む。

## ○今後の活動予定等のPR、その他

- ・EMC活動のツールとして各クラブ別に着せ替え式パンフレット案を検討する。
- ・基本パンフレットを作成し、各クラブはクラブ名、写真等を入れ替えるのみとする。
- ・次期のクラブ予算にパンフレット作成費を計上して頂きたい。(約30,000円/300部)
- ・次期の部予算作成時にクラブパンフレット作成補助金の検討をして頂きたい。

## 国際・交流事業活動計画と報告

国際・交流事業主査 柳瀬久美子(茨城)

## ○主題

「未来を見つめて、今行動し、飛躍、そして楽しもう」

## ○今期の目標

RBM:クラブ訪問時に、(蚊帳)の意義をPRします。

IBC,DBC:トライアングル

IBC:終結を目指します。

## ○課題と対策

### (1)課題:

- ・『強調月間』に該当する横文字、略字の意義、内容を会員の皆様に理解をして頂く。
- ・RBM:「蚊帳」、この運動は国連(UN)が提唱し、国連と繋がっていることの理解を広める。

### (2)対策、戦略:

- 1)表彰項目理解:対象とする献金事業は、BF、TOF、RBM、YESの4事業。

#### ① MVP賞:

一人当たり献金額第1位のクラブと部(合計8)

#### ② グランドスラム賞:

4種事業全て目標達成したクラブ

#### ③ 金賞

1)事業・行事・部会などの際、

RBM献金を実施したクラブ、部

2)4種献金目標を達成したクラブ

3)一人当たり献金額第2位のクラブ

#### ④ 銀賞

1)一人当たり献金額第3位のクラブ

部

#### ⑤ 銅賞

1)一人当たり献金目標金額を達成したクラブ、部

2)BF使用済み切手収集優秀賞(上位3クラブ)

#### ⑥ IBC締結賞

#### ⑦ DBC締結賞

- 2)国際・交流事業主任の伝達事項を各クラブにスムーズに提示していく。

## ○今期の目標に対する活動状況

下記の部長訪問に同行し



RBM, BF の PR をした。

- 8月 6日 東京ひがしクラブ
- 8月 17日 東京北クラブ
- 9月 10日 所沢クラブ
- 9月 15日 東京江東クラブ
- 9月 24日 東京ベイサイドクラブ

- ① 第一回評議会にて、太田主任からの『使用済み切手収集の諸注意』を各クラブ会長に配布した。
- ② 関東東部 20 周年記念例会において、太田主任からの『2016 年～2017 年度 TOF 献金の使われ方』を配布した。
- ③ 東京ベイサイドクラブからの依頼で RBM の蚊帳を送った。
- ④ 第二回評議会に、収集済み小切手の持参を各クラブ会長に依頼した。

#### ○ 今年度の活動主題に対する主な活動やトピック

- ・東日本区会計担当より全てのクラブ会長宛てに「各種献金のお願い」として、「TOF 献金」について 2016～17 年度の使われ方を、また、ワイズメンズ国際協会から発表された 8 件を選び、英語の原文と和約を添えて各クラブにお知らせし、引き続き献金に理解と協力をお願いした。
- ・使用済み切手収集： 送料削減を目標に今期は、第 2 回評議会と東西交流会に切手を持参、納入して頂いた。東西交流会後、その日のうちに太田主任が（有）フクオに納入する事が出来た。`無から有を`との理念を理解され収集を行っている各クラブに感謝であった。

#### ○ 課題とクラブや部に対する要望等

- ・茨城クラブ所属の為、各クラブ訪問が時間的に困難な状況があった。
- ・東西交流会において、千葉クラブと大阪高槻クラブの DBC 終結式が行われた。又、DBC 仲間や、新しい DBC を求めて、情報交換や親睦の場が与えられ良き交流が実現した。
- ・各クラブにおいても、DBC を視野に入れた活動を検討して頂きたい。

### ユース事業活動計画と報告 ユース事業主査 青木一芳（千葉）

#### ○ 今年度の活動主題

「ユース例会の実施と区ユース事業への協力」

#### ○ ユース事業計画

##### (1) 部のユース事業計画

関東東部の各クラブは、2016-2017 年度の例会のうち少なくとも 1 回はテーマをユース事業に当てる。内容は各クラブでユース事業委員長を中心にして協議・決定する。

その例会には部ユース事業主査に参加を要請する。  
内容の例

- ・国際ユースコンボケーション(8 月台北で)参加者の報告(卓話)
- ・ユースボランティアリーダーズフォーラム(下記)参加者の報告(卓話)
- ・全リー研など YMCA のリーダー研修会参加者の報告(卓話)
- ・キャンプリーダーのキャンプ参加の体験談(卓話)
- ・ユース事業主任または主査を招いてのユース事業

についての卓話

#### (2) 区のユース事業への協力

ユースボランティアリーダーズフォーラム(9月9-11日、山中湖センターで開催)にワイズ参加者として参加することを奨励する。(このフォーラムは、ワイズがスポンサーとなり、各 YMCA に前途有望な新人リーダーを派遣してもらって、練達の講師と YMCA スタッフの指導を受けさせるもの。)

オープンフォーラム Y(期日未定。2016 年は 6 月 18 日に、代々木のオリンピック記念青少年センターで実施した)にユースの参加を奨励する。

(このフォーラムはリーダーほか経験を積んだユースに対し、各方面の専門家からの発題・指導をもとに、国際的視野をもった市民となるための研修を受けさせるもの。)

アジア太平洋エリアのユースコンボケーション(今回は 2017 年夏)へのユースの参加を奨励する。区では過去のコンボケーション経験者を講師とする研修会を企画している。

(この集会は、諸国のユースが寝食を共にし、互いを理解し、共通の関心事について協議することを通して友情を結ぶことを目的とし、将来ワイズメンとなることを期待するもの。)

#### ○ STEP 派遣を希望するユースの発掘

STEP(短期のユース交換プログラム)は、ユースを他国のクラブ会員宅に数週間受け入れてもらい、その地の文化に親しみ、YMCA 活動などユースの活動に参加する機会を与えるもの。応募ユースは YMCA やワイズの参加経験があり、会話能力のあることが求められる。

#### ○ 活動主題に対する主な活動やトピック

##### (1) 部のユース事業

関東東部では、10 のクラブそれぞれが 2016 年 10 月から翌 17 年 3 月までのどれかの例会を「ユース例会」と銘打って、ユース事業への認識・関心を高める機会とした。具体的な内容は次のとおり(開催順)。

10月7日 茨城クラブ 台北 IYC 参加のユース末永実花さんの報告を聞く

10月8日 千葉クラブ リーダーズフォーラム参加のユース関口優子さんの報告を聞く

11月10日 東京ひがしクラブ 大澤和子氏(所沢)列席東裕二氏(所沢)の「夢ハウス食堂について」の卓話により子供の居場所の問題を学ぶ

11月16日 東京グリーンクラブ 壇上氏(立教大学 Y)・大崎氏(一ツ橋大学 Y)列席

浅羽俊一郎氏(東京山手)の「ユース事業 について」の卓話により本事業を展望する

11月17日 東京江東クラブ リーダー9名・他クラブビジター・江東幼稚園保護者列席

リーダーズフォーラム参加のユース粉川美乃里さん・篠田樹乃さんの報告と全国リーダー研修会参加のユース大木さんの報告を聞く

11月26日 東京ベイサイドクラブ 衣笠輝夫氏(埼玉)列席。石川昌紀氏(東京家政大学)の卓話「若者の自分探しと年長者の関わり」を聞く

11月28日 埼玉クラブ リーダーズフォーラム参加のユース木下遥七さん・立岡壮太君の報告を聞く。

12月17日 川越クラブ リーダーズフォーラム参加

のユース木下遥七さんの報告を聞く

1月14日 所沢クラブ リーダー10 名列席(うち2名の成人式を祝う)

全国リーダー研修会参加のユース近山 さん・佐藤さん・島田さん・岩崎さんの報告とリーダーズフォーラム参加ユース立岡壮太君・太田崇仁君・木下遥七さんの報告を聞く

3月15日 東京北クラブ

清泉女子大学 Y ユース初村有希子さん・越智文香さんのインドスタディーツアーの報告と学Yの年間活動の報告を聞く。

各クラブはこのユース例会を企画・実施することを通じ、ユースと触れ合い、ユース事業の意義を実感できたものと思う。(私はこれらすべての例会に列席し、このことを確認した。)

## (2) 区のユース事業

国際ユースコンボケーションへのユース推薦(派遣)

茨城クラブ・埼玉クラブ各1名

ユースボランティアリーダーズフォーラムへのユース推薦 江東・千葉・埼玉(浦和)・所沢

オープンフォーラムYへのユース推薦 2017年5月14日(日)予定

アジア太平洋エリアユースコンボケーションへのユース推薦 2017年7月19-23日予定

STEP(ユース短期交流プログラム)派遣ユースの募集

## メネット事業活動計画と報告

メネット事業主査 島田京子(東京江東)

### ○ 今年度の活動主題

「メネット会の存続」という主題を前年度から引き継ぎ、今後のメネットの存在意義、活動について考える。

### ○ 活動方針

1) 東日本区メネットのつどい

委員長を中心に東日本区各部のメネットが一堂会して、テーマに沿っての講演や話し合い、見学や体験、およびバザーやオークションを行う。

2) 第20回東日本区大会「メネットアワー」

東日本区大会のわずかな時間を利用して、昼食を共にしながら、各部、各クラブの活動報告等を話し合う。

3) 国際プロジェクト、国内プロジェクトへの協力  
国内プロジェクトは今年度も「絵本を贈る運動」を行い、引き続き東日本大震災復興支援に協力する。

4) 前任者からの引継ぎ事項

引継ぎ事項として、「関東東部でのメネット会の未来」とあるので、部内でメネット会は東京江東ワイズメンズクラブのメネット会だけという危機的状況の中、各クラブのメネットに向けて何らかの情報発信、今後の活動へのアンケートや、他クラブとの交流などを実施する。

### ○ 今年度の活動主題に対する主な活動やトピック

・関東東部内の現時点でのメネット実数を把握するため、クラブ会長を通じて調査した。

・部会においてメネットの今後の活動の仕方等について話し合うことが出来た。残念ながら減少する

メネットの危機回避、問題解決には至らなかった。

・埼玉クラブのCS活動の歌声集会には多くの女性が毎月集っているとお話を聞き、歌声集会に伺い、「東日本区ワイズメネットのつどい」のアピールとメネット活動についての説明をさせていただいた。

・11月26日に「東日本区ワイズメネットのつどい」をYMCA 東陽町センターにおいて開催、58名の参加があり、関東東部からも25名の参加があった。

### ○ 課題とクラブや部に対する要望

・細々でも継続させるためにはメネットだけではなく、元メネットのメンバーや女性メンの協力も仰ぐ必要がある。

・今後はメネット活動に賛同していただけるグループ、個人にはメネット活動の説明、アピールはしていく必要があるのではないかとと思われるので、積極的に対処したい。

・女性メンが増え、メネットからメンバーへなられた方も多く、以前のようにメネット会長会や合同メネット例会などもなく、相互の繋がりや活動内容は薄く、故に対策を練るまでには至らず、主査としても淡々とこなすしかなかった。

・メネット会がなくとも、メネットとして国際プロジェクトや国内プロジェクトへの献金等は出来る範囲で継続していただきたい。

・メネット個人としてでも参加できることはあるので、メネット関連の連絡事項はクラブ会長から必ずお伝え頂きたい。



関東東部 20周年特性記念品

## 2. 関東東部クラブ部活動方針と活動報告

### 東京江東クラブ活動計画と報告

会長 相川 達男

#### ○ 会長主題

「今一度足元を固めよう！そこからステップアップ！」

#### ○ 今期の目標

- ・まずは、江東クラブとして足元を固める事を重点に活動したいと思います。
- ・江東クラブはYMCA江東センターを中軸として活動している為、江東センターの行事、協働する地域奉仕活動の中でのワイズの役割を確実に実行し、今まで以上に積極的にワイズが参加し周囲の人々が楽しく興味を持ってくれる場を作りたいと思います。
- ・その結果としてクラブ内の結束を強め、楽しいワイズに周囲の人が自ら志願して入会を希望するような環境づくりを行います。又、並行して近隣のクラブとの交流、情報交換、連携を強化し地域全体でのワイズ活動の活性化を図ります。
- ・そのような環境づくりの結果としてクラブ会員の純増3名を目指します。

#### ○ 今期の戦略

- ・第一の問題点は新入会員の確保に苦戦していること。江東クラブはセンター内の幼稚園父兄とのコミュニケーションの機会を有しているものの、現在の父兄世代の思考や生活習慣を十分に理解し受け入れられる態勢にはなっていません。
- ・又、父兄の方々もワイズのことを十分に理解していません。相互理解を高める必要があります。
- ・対策としては、前記したように江東センターや幼稚園の行事、奉仕活動に積極的に参加し（ただ参加するだけでなく多くの人とコミュニケーションを取り知り合いになる）ワイズとの距離を近いものにする。

#### ○ ゴール

- ・上記活動の結果として会員純増3名を目指します。
- ・このような地域、クラブ単位での活動が、結果として関東東部、東日本区の活性化に繋がると考えています。

#### ○ 今期の目標に対する活動やトピック

- ・既存の地域奉仕活動として、江東YMCA幼稚園のプールの設置、解体ワーク、園庭の遊具、教室の壁の補修ワークを実施し、幼稚園の保護者の方たちとも交流を増やすことが出来ました。
- ・又、地元区民祭り参加企業のチャリティー応援、江東センターのバザー応援として模擬店を出店し、クラブ総出で活動することが出来ました。日頃、欠席がちなメンバーに他のメンバーが個別に声掛けしてくれ活気ある活動をすることが出来ました。

#### ○ YMCA との協働

##### 1) YMCA 維持会員の状況

在籍 25 名中会員登録者 21 名。登録率 84% (年度中間 70%より増加)

##### 2) YMCA との協働に関する活動報告

- ・各種のYMCA幼稚園へのサポート、ワイズカップサッカーの開催、ファミリースキーキャンプの開催、ワイズポテトの販売など当クラブの活動はYMCA

- ・Aとの協働が多く強い結びつきを維持しています。
- ・本年度の新たな取り組みとして江東センターに係る子供たち（プログラム参加者、幼稚園園児）とその父兄を対象にYMCAとの協業としてファミリースキーキャンプを開催し約 40 名の参加者を募りました。江東センターを中心とした活動に注力しYMCA 共々活気ある活動が出来ました。
- ・ワイズカップサッカーは、当初ワイズが主体となって発足させた小学生、幼稚園児対象の地元サッカー大会ですが、参加者 700 名と規模が大きくなり、現在は運営をYMCA江東センターのスタッフ、リーダーがになってくれています。ワイズは、子供たちにお昼ごはんのトン汁を提供しYMCA、リーダー、ワイズが一体となって活動しています。



ワイズカップサッカー

#### ○クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

- ・各種の連絡はクラブ内のメールリンクを利用し迅速に行う体制が整っています。
- ・各月末の役員会で、翌月、翌々月の行事やクラブの事に関してした打ち合わせを行い、第 1 週の第一例会で各メンバーと協議、第 3 週の本例会はその下準備に伴い実りあるものとする。

#### ○ 今後の課題と対策

- ・東京YMCA江東センターへの奉仕を通じて、幼稚園父兄との接点は有りますが、ワイズへの理解を深めることに苦戦しており新入会者の獲得に至っていません。又、江東ワイズとしてのクラブの方針等も時代の変化に即した物に随時対応していく体制を検討する必要が生じてくるかもしれません。
- ・メンバーの平均年齢の上昇とそれを緩和する若手入会者の獲得に苦慮していること。実労働出来るメンバーが限定されていること。解決策はクラブに課せられる様々なワークを楽しくこなせる環境作りに努め、それを対外的にもアピールし新入会員を募る。
- ・例会への出席率を向上させるために、メンバー同士のバディー制度を導入。例会への出席を促したり、バディー同志声を掛け合う事によりメンバーのワイズへの関心を高める。

### 千葉クラブ活動計画と報告

会長 長尾 昌男

#### ○会長主題

「みんなで、つなげよう」

#### ○今期の目標

- (1) 千葉YMCA理解を広め、新規会員の獲得
- (2) 20周年記念部会に優先参加(同日、千葉YMCAチャリティーランの開催日)

(3) 千葉 YMCA の活動のサポート (千葉市中央区役所花壇の奉仕 他)

(4) 関東東部の次期ホストクラブとしての準備

#### ○ 今期の戦略

(問題点) 会員の高齢化

<対策> 若い会員の獲得

<戦略> クラブ年会費の見直し (6万円⇒4万2千円 前年度より実施済)

健康ウォーキング等で、YMCA 理解を広める (前年度より再開)

#### ○ ゴール

(1) 現状 13名⇒目標 15名 (グッドスタンディング)

(2) DBC の締結 (2月の東西ワイズ交流会日)



大阪高槻クラブとDBC

(3) IBC 釜山セントラルクラブとの交流

(4) 地域奉仕事業/国際・交流事業への献金協力 (目標額 100%達成)

#### ○ 今期の目標に対する活動やトピック

(1) 新規会員の獲得

・新規会員の獲得 YMCA に関わりのある方を例会の卓話を依頼

・1月半年報 2名減の 11名。1月卓話に常議員会議長にお願いしたがまだ会員獲得に繋がっていないが、7月には廣田総主事の転入会が確定している。

(2) 千葉 YMCA の活動のサポート

・千葉 YMCA インターナショナルチャリティーラン (10/15) 運営支援 事務局&実行委員 (長尾)、実行委員 (徳永) 「我がクラブが 2 チーム分をスポンサーし、SON・千葉の青年の出走を支援した」

・熊本地震(阿蘇)復興支援 作業物資の送料支援、ボランティア派遣の交通費等の補助

・千葉市少年自然の家 秋のわいわいフェスティバル (10/30)

・「市民クリスマス in 千葉」への支援(12/10)

・船橋市内の小中からの要請による「障がい者理解体験教室」への助勤(11月以降 9校)

・「ちば市国際ふれあいフェスティバル」への出店と支援(2/12)

・「千葉Y・ケソン市Y交流プログラム」への金銭・行事支援(2/24~3/2)

(3) 次期ホストクラブとしての準備 9月30日(土) 部会を開催する予定の「千葉市美術館」で、下見を兼ね「千葉クラブ 5月例会 (45周年記念例会)」の開催を実施(5/13)

(4) 2017.2.5 大阪高槻クラブと DBC 締結(第2回東西日本区交流会 東山荘にて)

#### ○ YMCA との協働

1) YMCA 会員率の現状 100% (10名 担当主事は含)

2) YMCA との協働に関する活動報告

◎千葉 YMCA の活動やPRで、ワイズの出番と考える時に出勤する。上記千葉 YMCA の活動のサポートの①~④と同じ。

#### ○ クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

・例会日(第2土曜)の例会前後に、約1時間の事務例会を行っている。

#### ○ 今後の課題と対策

<問題点> 会員の減少と高齢化

<対策>

・若い会員の獲得 千葉 YMCA の常議員、千葉 YMCA リーダーOBへの近づき

・ランチ会 (会員フォロー) 夜の例会が無理な会員に、誕生日祝、結婚記念日祝を

### 東京グリーン クラブ活動計画と報告

会長 浅見 隆夫

#### ○ 会長主題

「親睦なくして、奉仕はない」

#### ○ 今期の目標

数は力、やはり会員増強を目指す

#### ○ 今期の戦略

ワイズの原点に戻って会員の意識向上、自覚をうながす

・定刻に始まり、定刻におわる

・ワイズグッズを必ず一点身につける

・例会中に一度は発言する

・神田川船の会は社会的認知を受けているが一層の充実を図る。

ガイドの質向上

・専門家による発声法の訓練

・江戸文化・歴史の更なる勉強

#### ○ ゴール

・東日本区が提唱するすべての事業に協力し最低ノルマはすべて達成する

・何か新たなCS事業をたちあげる

#### ○ 今期の目標に対する活動やトピック

概ね順調に推移している。

・関東東部部会に7名さんか

・昌平小学校課外授業 神田川・日本橋川・小名木川歴史探訪

・第74回神田川船の会 成功裏に無事故で終了

・親睦はグリーンクラブの得意とする分野であり、12月のクリスマス例会はスナックを貸し切りゲスト・ビジターをお迎えし、プロの歌手によるオールディーズで大いに盛り上がった。

・1月新年例会は東京北クラブと合同例会を開催、古今亭寿輔師匠の落語を大勢のゲスト・ビジターと楽しみました。



クラブ暑気払い

## ○ YMCA との協働

### 1) YMCA 会員率の現状

会員 17 名中 13 名 メネット 1 名が会員登録

### 2) YMCA との協働についての活動や方針

- ・東陽町 YMCA 「夏祭り」 出店参加
- ・グランチャ東雲「ふるさとチャリティ秋祭り」に提灯協力
- ・YMCA 午餐会 参加
- ・グランチャ東雲新スポーツ「アンダーゴルフ」開催
- ・第 74 回「神田川船の会」後援
- ・12 月 23 日東陽町クリスマスオープンハウスに恒例のフランクフルト・甘酒を販売。メネットはバザーを出店参加。

## ○クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

従来のクラブ運営に変更はない

## ○ 今後の課題と対策

これらの機会を EMC に繋げるべく活動を展開したが、未だ成果に繋がっていない。

## 埼玉クラブ活動計画と報告

会長 上松 寛茂

### ○ 会長主題

「着実に前進を」

### ○ 今期の目標

ワイズメンズクラブは YMCA のサポーター組織でありながら、その機能を十分に果たしてはいない現状を踏まえ、いかに貢献できるかの具体的な施策を生み出す努力をする。

### ○ 今期の戦略

最大のネックは人とカネ。現メンバー 6 人では何をするにもパワー不足になりやすい。現在ゼロの女性メンバーの勧誘も積極的に行う。

カネは資金というより 1 人当たり 5 万円の年会費だ。この額では新メンバーを勧誘する際、辞退される理由の一つになっていることは間違いない。地域の高齢者などを対象に実施している「心のふるさと歌声集会」の参加者の相当数が事実上、準会員としてワイズの組織を支えている。この人たちを正式メンバーに誘い込むには年会費の半額以下の値下げしかない。それでも高すぎるという印象はあるが、関東東部や東日本区にこのことを強力に訴えていくことを最大の方針・目標として対応していく。

10 月に同メンバーらと伊東温泉旅行を計画する一方、山中湖キャンプ場や東山荘、富士山ビレッジなど YMCA の施設を積極的に利用したプログラムを展開する。

### ○ ゴール

「心のふるさと歌声集会」（毎月第 2 金曜日）と「ワイワイパソコン教室」（同第 1 金曜日）の内容を充実していく。

新メンバーの加入 2 人以上を実現する。

### ○ 今期の目標に対する活動やトピック

- ・YMCA のサポーター組織でありながらその機能を十分に果たしていない現状を踏まえ、いかに貢献できるかの具体策を現在模索中。
- ・YMCA を軸に世界的視野に立った歩みをしていく
- ・YMCA へのさらなる貢献策を探る
- ・CS 活動に知恵を出し、メンバーも増やして新たな

な発展を目指す

## ○ YMCA との協働

### 1) YMCA 会員率の現状

・当クラブ員は全員が YMCA の会員であり、さらなる関係を深める努力をしていきたい。

### 2) YMCA との協働についての活動報告

- ・チャリティーラン、バザーなどできるだけ YACA の各種行事にクラブ員が参加し、交流することに努力を傾けている。
- ・心のふるさと歌声集会や PC 教室、チャリティーコンサートはワイズが全面的に協力体制を執っている。
- ・毎月 1 日の埼玉 YMCA 早天祈祷会もワイズが率先してプログラミングに関与している。



埼玉 YMCA 早天祈祷会

## ○今後の課題と対策

少数人数、高齢化、女性会員がゼロというマイナス点をプラスに変えるために、

当クラブの CS 活動の中心となっている「心のふるさと歌声集会」参加者を勧誘するなどワイズに取り込む工夫を考えたい。

## 東京北クラブ活動計画と報告

会長 辰馬 行男

### ○会長主題

「義務を果たし、実りあるワイズ活動を、そして楽しく」

### ○今期の目標

- 1) 会員増強～仲間をふやそう
- 2) 東日本区理事方針に沿って「明日に向かって、今、動こう」
- 3) 東日本大震災・熊本地震支援活動の継続
- 4) 例会・親睦を楽しく
- 5) 興望館との協働（興望館では興望館デー及び例会を協働する）
- 6) 清泉 YMCA との協働（ユースコンボケーション（IYC）に清泉 YMCA 参加を支援）
- 7) YMCA プログラムの積極参加

### ○今期の戦略

・課題

- 1) クラブ会員の高齢化（会員数の減少、出席率の低下）
- 2) 地域奉仕活動が出来ないことが続いている。

・対策

会員を少しでも増やすしかなく、第二例会の出席率を増やし問題点を話し合い積極的に取り組む必要がある。

### ○ゴール

- 1) 義務を果たし、（東日本区からの各種献金目標金

額の達成)

- 2) 実りあるワイズ活動を、(一人の会員の入会、退会者ゼロ、地域奉仕活動を模索する)
- 3) そして楽しく(例会, 親, YMCA プログラムの参加)

#### ○ 今期の目標に対する活動やトピック

- 1) 会員増強～会員獲得の見込みがついていない。
- 2) 例会、親睦を楽しく～例会の卓話は会員を中心に行った。清泉 YMCA 毎月2名参加  
7月卓話「熊本地震発生から今は」山根一毅会員  
8月「納涼例会」片山 啓 関東東部部長公式訪問 ビンゴゲームなど  
9月卓話「YMCA キャンプについて」 神保伊和雄氏 (東京むかでクラブ)  
10月卓話「ポルトガル・スペイン旅行 珍道中」辰馬行男会員  
11月卓話「なんにもないから知恵がでる」磯部成文会員  
12月「クリスマス例会」教会で礼拝 レストランでディナー  
1月「東京北クラブ・東京グリーンクラブ新春合同例会」落語堪能 新春浅草歌舞伎 鑑賞 6名参加  
2月「野菜作りを楽しもうー緑豊かな街づくりをめざしてー」藤田 智氏  
3月「清泉 YMCA 活動報告・インドスタディーツアー報告」清泉 YMCA  
4月「興望館の今」～興望館を会場に  
5月「お花茶屋から石巻へ」関喜一郎氏 (石巻広域クラブ)
- 3) 興望館との協働  
11月興望館デー参加、2月こうぼうかん展覧会出品、4月興望館を例会会場に
- 4) 清泉 YMCA との支援・協働  
・毎月の2名程度の例会参加、2月インドスタディーツアー2名参加を支援した。  
・ユースコンボケーション1名推薦承認、4月清泉女子大学ガーデンパーティー訪問

#### ○ YMCA との協働

- 1) YMCA 会員率の現状  
東京北クラブの YMCA 会員率は 100%
- 2) YMCA との協働についての活動や方針  
・8月27日(土) 東京 YMCA 夏まつり 東京北クラブ7名、清泉 YMCA 7名参加  
・9月22日(木・祝) 第30回記念チャリティラン 東京北クラブ6名、清泉 YMCA 2名参加  
・10月22日(土) グランチャ東雲秋祭り 東京北クラブ2名参加 (東京グリーンクラブと協働)  
・10月27日清泉祭訪問



10月27日清泉祭訪問

・12月23日(土)「クリスマスオープンハウス」 8名参加

・2月25日(土)「陽春の集い」 2名参加

○クラブの3S (Simple Slim Speed) に関する対応  
認識が薄く対応が出来ていない。

#### ○今後の課題と対策

- 1) クラブ会員の固定化が続いている。  
会員増強は少ない会員数でクラブ活動をする事だけで会員増強まで及ばない。
- 2) 地域奉仕活動が出来ていない。  
対策) 会員増強しかない。いつも同じことを提起していることが心苦しい。

### 所沢クラブ活動計画と報告

会長 栗原 成晃

#### ○会長主題

「次世代を担う若者と共に歩む」

#### ○今期の目標

- 1) 埼玉YMCAの活動内容の理解を深め、相互の協力関係を確認し、YMCAが行う青少年の育成等を目的とするプログラムを積極的にサポートする(キャンプ・スキー・障害者児水泳等)。
- 2) 社会奉仕活動を通して地域に貢献する(障害者支援・チャリティーラン、「狭山丘陵ウォーク」の継続開催、東日本大震災被災者支援活動)。
- 3) 例会や奉仕活動の交流の中で、生活を楽しく、豊かなものにする。
- 4) 会員増強を図る。

#### ○今期の戦略

・課題

- 1) YMCAの活動内容を深めることを目的とした若手リーダーとの交流が少ない。
- 2) 社会奉仕活動として「第1回狭山丘陵ウォーク」を新規に企画したが、今後の定着化が課題である。
- 3) 会員の減少。

・対策

- 1) 2017年6月2日(土)・3日(日)の第20回東日本区大会を成功させる。
- 2) クラブ会計方法、内容の見直しを検討する。

#### ○ゴール

- 1) 例会に、毎回学生リーダーを招待して、YMCAの活動内容の理解を深める。
- 2) 「第2回狭山丘陵ウォーク」は、PR活動を重ね広範囲から多くの参加者を募り定着化を図る。
- 3) 最低2名の入会者を実現する。

#### ○今期の目標に対する活動やトピック

・山中湖ユースボランティアフォーラム慰問2名派遣  
・ユースの報告会

1月例会において、リーダー二人の成人祝いと、全国リーダー研修会・リーダーズフォーラムに参加したユースの報告会を開催した。参加したリーダーは10人でした。関東東部のユース事業主査青木メン(千葉クラブ)や、前ユース事業主査衣笠メン(埼玉クラブ)も駆けつけてくださいました。



ユースの報告会

- ・地域の社会奉仕団体との交流会  
2月例会で地域の社会奉仕団体との交流を図るため例会に代表者をゲストとして招き、社会奉仕活動の事業内容について卓話をいただいた。  
テーマ：〈優しさのプラットフォームフードバンク「もったいない」を「ありがとう」に〉  
講師：フードバンネット西埼玉代表黒田和代氏

#### ○YMCA との協働

##### 1) YMCA 会員率の現状

会員 5 名 (62.5 パーセント)

##### 2) YMCA との協働についての活動や方針

- ・『チャリティーラン』、『フェスティバル』『小手指ハナミズキまつり』への参加。
- ・狭山茶販売利益を特別支援教育支援金として献金。
- ・小関メンによる特別支援教室支援。

#### ○クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

- ・メール活用による情報の共有化を図り、速やかな決済業務を実施。
- ・活動できるメンバーが少ないのでイベントは、選別して実施。
- ・会費の有効活用を実施。

#### ○今後の課題と対策

- ・例会等に参加できる人員が少ない点。
- ・会員増強と協力会員及びプール会員等の応援団を募る。

### 東京ひがしクラブ活動計画と報告

会長 鮎澤 正和

#### ○会長主題

「変化と継続 クラブ一丸！！ PART2」

#### ○今期の目標

- ・新入会員獲得 1 名以上
- ・既存プログラムへの取り組みの強化
- ・YMCA との連携の強化

#### ○今期の戦略

- ・メンバーの高齢化  
メンバー個人の加齢に関しては如何ともし難い。クラブとしては若年層のメンバーを獲得したい。
- ・メンバー数の減少  
今期 2 名の休会者があるが、残りのメンバーで活動できる体制を作って行きたい。
- ・2018 年問題  
東陽町に係る全てのクラブの問題ではあるが、東陽町センターをサポートするという設立目的があるひがしクラブとしては最重要課題と捉え、今後進むべき最適な道筋を見出せる様議論を重ねて行きたい。

#### ○ゴール

- ・メンバーの増強は喫緊の課題ではあるが、最低 1

名は獲得したい。

#### ○今期の目標に対する活動状況

- 「新入会員獲得 1 名以上」 --- 未達成
- 「既存プログラムへの取り組みの強化」 --- 東陽町センターを始め江東 YMC A, グランチャ東雲のプログラムへの参加協力をクラブ全体で取り組んでいる。
- 「YMCA との連携の強化」 --- 2018 年問題と絡めてクラブ内で話し合っている



納涼例会

#### ○今期の目標に対する活動やトピック

- ・3月12日に第23回ピースウォークの開催  
富岡八幡宮をスタート、YMCA 東陽町センターをゴールとした約 2 時間半の東京大空襲の慰霊碑をめぐるコースを参加された方とともに歩き、ゴールの後はメネットの皆さんによるトン汁のサービスと戦災資料センターからお借りした東京大空襲の DVD を鑑賞し、記憶を風化させないためにも続けていくことを誓った。  
クラブのプログラムとして東京大空襲の被災者を慰霊する「ピースウォーク」を毎年 3 月に行っているが、戦後 70 有余年も経つと参加者の高齢化が目立ってきている。しかしこの思いを風化させる訳にはいかないのでこれからも続けて行きたい。

#### ○YMCA との協働

##### 1) YMCA 会員率の現状

会員が現状維持なので会員率も変わらない。

##### 2) YMCA との協働についての活動や方針

- ・東陽町センターのプログラムである 12 月の「クリスマスオープンハウス」でクレープ、2 月の「陽春の集い」で他クラブ、会員部の皆さんと共に餅つきと昔遊び、落語鑑賞で、地域の方々、YMCA に集う方々と交流を持つことが出来た。

#### ○クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

- ・クラブとして明確な方向性はまだ出ていない。

#### ○今後の課題と対策

- ・メンバーの高齢化  
現有メンバーでは対策の立て様がない。
- ・メンバー数の減少  
期 2 名の休会者があったがその後、会員増強が急務であるが、今期に 1 名の新メンバーを迎える事が出来そうである。引き続き努力をして行きたい。
- ・2018 年問題  
先般 YMC A から一応の解決策が提示されたのでそれを基にクラブ内で話し合っていく。

## 川越クラブ活動計画と報告

会長 吉野 勝三郎

### ○会長主題

「東日本区大会を成功させよう！」

### ○今期の目標

- 1) 東日本区理事 利根川恵子メンへの支援
- 2) 埼玉 YMCA 川越センターへの支援
- 3) 新体制となった埼玉 YMCA 全体への支援
- 4) DBC を結んだ、北九州クラブとの交流

### ○今期の戦略

- 1) 東日本区理事 利根川恵子メンへの支援  
他クラブの例会や集会へ参加しやすくするため、交通費・登録料などの援助を大幅に増額しました。
- 2) 埼玉 YMCA 川越センターへの支援  
・身近にある川越センターを積極的に援助します。  
現状を正しく理解し、今後のセンターの姿をイメージできるように、連絡主事との関係を深めます。  
・今年も、“紅あか”を拡販して、川越センターと埼玉 YMCA を支援する。
- 3) 新体制となった埼玉 YMCA 全体への支援  
チャリティーランやチャリティーゴルフを積極的に支援します。
- 4) DBC を結んだ、北九州クラブとの交流  
無理のない交流に努める。

### ○ゴール

二名の新入会者を目指す。

### ○今期の目標に対する活動やトピック

- ・平成 28 年 7 月 30 日 (土) 16:00~18:00  
会場 YMC A 川越センター、卓話者 佐々木 仁子先生 埼玉 YMCA 教育アドバイザー
- ・平成 28 年 8 月 26 日 (金) 16:00~  
会場 YMC A 川越センター 埼玉 3 クラブ合同例会と納涼会、卓話者 小谷全人総主事 「埼玉 YMC A の現状と課題」
- ・平成 28 年 9 月 30 日 (金) 19:00~  
会場 YMC A 川越センター  
今後の例会の日程と内容 東日本区定款変更の件、区大会準備状況の報告
- ・平成 28 年 10 月 15 日 (土) 12:00~13:00  
会場 茨城 YMC A 東日本区大会準備状況  
区大会の準備会を既に 16 回開催し、4 月 22 日 (土) には、会場でリハーサル。埼玉県内の、埼玉・所沢両クラブの全面的なサポートも得て準備を進めた。評議会では、申し込み状況の最新情報を報告。講演は、いすみ鉄道の社長 鳥塚亮氏を招き、講演会は、入場料無料で一般公開。

### ○YMCA との協働

#### 1) YMCA 会員率の現状

11 人中 10 名が協力会員です。

#### 2) YMCA との協働についての活動や方針

- ・埼玉 YMC A 川越センターの責任者が、リーダー出身で、彼女が大学卒業後、タイ・チェンマイ YMC A で奉仕された際に、川越クラブで支援したことがある等から、友好かつ建設的な関係にあります。
- ・かつ、川越センターの連絡主事が正式に川越クラブに入会しましたので、YMCA との関係が今まで以上に強くなりました。

### ○クラブの 3S (Simple Slim Speed) に関する対応

会員間では、ほぼメールで情報交換できるようにな

っています。

### ○今後の課題と対策

- ・区大会準備に忙殺されながらも、月例会を欠かさずに開催しています。
- ・EMC としては、知人を積極的に例会に招くよう努力しています。
- ・次年度からは、従来のクラブの活動に注力できると思います。



## 茨城クラブ活動計画と報告

会長 稲本 修一

### ○会長主題

「ワイズを楽しもう。輪を広げよう。」

### ○今期の目標

- ・例会プログラムの充実
- ・茨城 YMC A の諸行事に対する支援 (まつりつくば、リーダー研修の補助等)
- ・第 8 回チャリティーゴルフの実施 (9 月 9 日)
- ・第 3 回チャリティーランの協力 (10 月 29 日)
- ・会員の増強をはかる

### ○今期の戦略

- ・例会出席者が固定化している傾向があるので、多彩なプログラムを準備して欠席者に出席を促す。
- ・移動例会の実施 (お花見例会、カラオケ例会等)

### ○ゴール

- ・会員増強 純増 3 名

### ○今期の目標に対する活動やトピック

- ・会員増強は残念ながら進展無し
- ・まつりつくばやチャリティーゴルフの時にワイズの会員募集のチラシを配る
- ・ひろ君の募金活動推進
- ・クリスマス例会でのチャリティーオークション



クリスマス例会



## ○YMCA との協働

### 1) YMCA 会員率の現状

62%

### 2) YMCA との協働についての活動や方針

- ・ボランティアリーダーの研修派遣の支援
- ・まつりつくばでの共同バザー
- ・チャリティゴルフ大会実施（120名参加）ボランティア11名
- ・チャリティラン実施（36チーム、約300名参加）
- ・震災支援バザー 年2回実施

## ○今後の課題と対策

- ・例会出席率が60%位、出席率向上のためには例会内容の充実と欠席者に電話・メール等で親しい会員が呼びかけるようにしたい。
- ・YMCA との協働事業をいくつか取り組んでいるのでこれ以上事業を拡大するのは難しいと思われる。

## 東京ベイサイドクラブ活動計画と報告

会長 峯岸 友彦

### ○ 会長主題

「焦らず細部まで確実に、楽しく全員で大胆に！」

### ○ 今期の目標

- ・第一目標としまして、今期中にクラブ独自のCS事業を1事業以上確立し年度内の実施を目指します。
- ・第二目標としまして、クラブ間連携強化及びクラブ内でのワイズ理解のため年度内に関東東部8クラブのうち4クラブ以上の例会訪問または合同例会実施を目指します。

### ○ 今期の戦略

- ・クラブ内の実働メンバーに業務の片寄りが生じてしまい負担が増大した。対策としてクラブ内に委員会を設置し全員に役割を与え活動の効率化を図ります。
- ・クラブの活動内容がこども園保護者や地域に周知されておらずクラブへの理解がされていません。対策として上記同様にブリテン・広報委員会を設置しブリテンの確実な発行や facebook 等を活用した情報発信でワイズメンズクラブの理解と会員増強を推進します。
- ・今年度も毎月第二土、日は中央区勝どきで行われる太陽のマルシェに参加出店致します。

### ○ ゴール

- ・CS事業を1事業以上確立する
- ・例会訪問、合同例会を4クラブ以上と行う
- ・退会者0名
- ・新規入会者2名以上
- ・クラブ内YMCA会員数を50%以上に引き上げる

### ○ 今期の目標に対する活動やトピック

- ・目標に対する活動  
第一目標：今期中にクラブ独自のCS事業を1事業以上確立  
→2016年11月5日ゴミランを実施し1事業達成しました
- 第二目標：4クラブ以上の例会訪問または合同例会実施  
→江東ひがしベイサイド合同例会を実施し2クラブ達成しました



CS事業ごみラン（部支援事業）

### ・戦略に対する活動

- 1) クラブ内に委員会を設置し全員に役割を与え活動の効率化を図る  
→各委員会（会員増強、CS、ファンド、マルシェ、広報）を設置しメンバーがいずれかの委員会に所属するようにし役割を分担しました
- 2) クラブの活動内容がこども園保護者や地域に周知されていない  
→地域で活動する際にビブスを着用しました  
→東雲で行われた祭にてクラブ紹介チラシを配布しました  
→こども園掲示板に各月のブリテンを掲示しました

## ○YMCA との協働

- 1) YMCA 会員率の現状 15人中5人です。
- 2) YMCA との協働についての活動や方針  
東京ベイサイドクラブのサポート先であるしののめこども園の教職員、グランチャ東雲スタッフの顔と名前を互いに覚える

## ○クラブの3S (Simple Slim Speed) に関する対応

- ・Simple：仕事や家庭のある中での活動を意識し出来る限り土日はどちらか一日での活動を心掛けている
- ・Slim：実働人数が限られ、各事業も確立していない現状を維持
- ・Speed：役員会、例会の出席率が低い中でメールとLINEを駆使し連絡を取り合う

## ○今後の課題と対策

- ・クラブメンバーはしののめこども園の保護者が大半を占めるが子供の卒園と共に活動が減り退会してしまう。YMCA との接点が無くなるとYMCA のサポートをするボランティアとしての意義を見出すことが難しくなると考えている。対策に関しては協議を始めたところ。
- ・メンバーの退会が続き、実働メンバーへの負担が増している。メンバーごとに認識している問題点も見え始めており、クラブとしての方向性を見直す機会と捉えている。

### 3. 活動記録

#### 3.1 第20回関東東部部会

大会主題：20年を考える Past, Today, Future

。 副題：ワイズのこれまでの20年間を振り返り、今を見極め、これからの20年をYMCAと共に考えよう。

日時：2016年10月15日（土）13:00～19:00

場所：つくば国際会議場、筑波クランド東雲

13:00	登録受付開始	受付	関東東部会計	井上 恒久
13:30	開会	司会	関東東部書記	稲本 修一
	開会点鐘		関東東部部長	片山 啓
	ワイズソング			全 員
	ワイズの信条			全 員
	聖書朗読と祈祷		茨城クラブ副会長	柴川 林也
	開会挨拶		関東東部部長	片山 啓
	来賓紹介		関東東部書記	稲本 修一
	来賓挨拶		東日本区理事	利根川恵子
14:00	<b>基調講演 1</b> （別紙レジメを参照）			
	「若者たちの未来とワイズメン」元 APAY 総主事			山田 公平
	<b>基調講演 2</b> （別紙レジメを参照）			
	「ブランドコンセプト発表」			
	日本 YMCA 同盟国内協力部主任主事補佐			
	ワイズメンズクラブ西日本区連絡主事			有田 征彦
15:00	休 憩			
15:10	<b>合同例会としての分団</b>		司会	茨城クラブ 土谷 明男
	グループ 1~6 に分かれて協議			
15:50	分団発表（各 5 分以内）		各グループリーダー	
	*4分で予鈴1回、4分30秒2回、5分3回で終了			
16:25	記念写真撮影（荷物を持ってホール階段に移動）			
16:35	バスに分乗して筑波クランド東雲（中型バスと YMCA バスを併用）			
17:00	<b>懇親会</b>		司会	茨城クラブ 書記 村田 淳
				茨城クラブ担当主事 和田 賢一
	乾杯挨拶			茨城 YMCA 総主事 宮田 康男
	主任からの PR			
17:30	各クラブからの発表（1）			
18:00	レス&ギルコンサート			
18:30	各クラブからの発表（2）			
18:45	20周年記念品贈呈と評議会案内		関東東部部長	片山 啓
	YMCA の歌			全 員
	閉会点鐘		関東東部次期部長	長尾 昌男
19:00	閉 会			

\*赤枠の3メインプログラムで構成



## ○基調講演 1. 概要記録

(尚、各標題は補足としてこちらで追加したもの)

### 「若者たちの未来とワイズメン」

元 APAY 総主事 山田 公平

#### 1) YMCA とワイズの課題

- ・世界の中でも、YMCA が減っている。努力が足りないのか。
- ・YMCA とワイズが何かを行うきっかけができればと願っている。例えば、茨城の地で何が大事なのか、YMCA とワイズが共に計画を作り何かをする。
- ・これが、新しい可能性を作るきっかけになればと思う。
- ・しかし、YMCA は現在の問題に追われている。そうではなく新しいサービスプログラムに関心を寄せるべきで、この様な視点が必要だと考える。
- ・若い方が求めているものを、YMCA とワイズで何が提供できているのか。ここが、課題だ。

#### 2) 我々の目指すところ

- ・気象変動が進み、現在の人生の目的や価値観が変化することであって、ミレニウム世代に対してどのように責任を持つべきだろうか。
- ・今後の急速な高齢化に向けて、高齢者にとっても厳しい世界となる。若者だけでは支えられない。高齢者も考えを変えていく必要委がある、
- ・存在の根源を見据えた上で、判断する必要がある。豊かになる生き方としての靈性や教育が必要だ。
- ・我々が、おぼろげに考えているものが何か、それを伝えることが重要ではないか。
- ・ボランティアを行う場合にも、ただの行為ではなく、そこに意義を見いだすことが大事だ。
- ・ワイズの働きとして、青少年に正しい選択を学ぶ機会を与える必要がある。YMCA は忙しいのでワイズが始めるべきではないか。
- ・地域のニーズがどこにあるかを発見し、若者を巻き込む活動こそが、今のワイズに求められているのではないか。



## ○基調講演 2

### 「ブランドコンセプト発表」

日本 YMCA 同盟国内協力部主任主事補佐  
ワイズメンズクラブ西日本区連絡主事

有田 征彦

- ・今の作業は、“心も満タンに、コスモ石油”の様なものも作ろうとしている。
- ・YMCA が生き残る道として、ロゴや一言を作ろうと検討をしている。
- ・YMCA でも、他の YMCA との連携が少なかった。今後は、全国が一つとなって歩もうとしている。

## ○合同例会としての分団 (当日の変更を反映)

合同例会は、普段あまり交流を持ってないクラブ間の交流と親睦を兼ねて分団を実施。当日、リーダーが良くまとめており、グループの再編なども臨機応変に対応をされ、良い合同例会としての協議の時間となった。また、本記念部会運営委員会の委員を下線で示す。

- ・グループ分け<人数>を、以下に示す。

Group1; 東京江東、埼玉、千葉、東京北 <13>  
リーダー 青木清子 (千葉)

Group2; 東京ひがし、川越、茨城 <14>  
リーダー 吉野勝三郎 (川越)

Group3; 東京グリーン、所沢、東京ベイサイド <13>リーダー 工藤大丈 (東京ベイ)

Group4; 茨城 YMCA 若手 (スタッフ、リーダー)  
リーダー 久米あゆみ (茨城 Y スタッフ)

Group5; 他の部のベテランの方々 <10>  
リーダー 金丸満雄 (東京ひがし)

Group6; ネット リーダー 島田京子 (江東)

- ・テーマ

基調講演を聞いた上でクラブ間の懇親も含めた協議を。

① ワイズの今後と YMCA との協働について

② その他、自由なテーマも

- ・各グループの発表記録

### Group1; 東京江東、埼玉、千葉

- ・ワイズと YMCA の働きについて

→ワイズとしてできることは限定される。

地域でできることから探ることが大事か。

10年か20年後、ワイズはなくなるのでは。

→そのためにも地域で必要なことを探していくべきなのだろう。

### Group2: 東京ひがし、東京北、川越、茨城

- ・YMCA への活動が広がる。
- ・キリスト教徒の関係で、そうでない方にしてはハードルが高いと感じている。
- ・山田公平さんの中にあつた、ワイズで YMCA と何を行うか
- ・子どもたちに YMCA で感じたものが将来に生かされるのでは。

### Group3: 東京グリーン、所沢、東京ベイサイド

- ・神田川は子供のためにおこなっている。他のクラブの子供のために活動している。



## ○各クラブの発表とコンサート

担当者・クラブ名	テーマ	概要
東日本区国際・交流事業主任 太田 勝人	BF代表募集、IBC交流、TOF献金の使途、切手	
東日本区メネット委員長 相磯 優子	メネットのつどいのお知らせ	
東京江東クラブ	センターと共に歩む地域密着型クラブ	江東クラブは、その拠点である江東センターと共に奉仕活動を行っています。その原点に帰りクラブのあり方、将来を見つめなおしています。
千葉クラブ	千葉YMCAの地域活動への奉仕	010年5月からの千葉市中央区役所玄関前のガーデニング・ボランティア（YMCA花壇）の歩み
東京グリーンクラブ	神田川船の会	
東京北クラブ	親睦：新春浅草歌舞伎	若手歌舞伎役者の成長を見る楽しみ。
所沢クラブ	地域奉仕で会員増強	他奉仕団体との協調活動（フードバンク・学習支援・放課後教室）お花見の開催（狭山市）、所沢ワイズクラブのパンフレット制作
川越クラブ	「東日本区大会を成功させよう！」	
東京ベイサイドクラブ	ごみランについて	

- ・YMCAはこれまで多くのことをしてきたが、盗れたのではないかと。  
→社会に広まるた結果、役割が変わったのでは。Yはフットワークが軽かったし、発信力が弱くなっている、
- ・ブランディングは大事。YMCAは先駆者先行者の原点回帰をすべきだろう。

### Group4：山田、茨城YMCA若手スタッフ、ユース

- ・YMCAとワイズの協働には、以下の3つのステップが必要ではないか。

  - ① 時代と共に地域の変化を知るにはワイズの力が必要だと思う。茨城のスタッフは若手が多いので、地域に愛のあるワイズを期待したい。
  - ② 地域のニーズを把握した上で、具体的なアプローチについて、YMCAとワイズで共に語り合う。
  - ③ 以上の協働によりスタッフやリーダーも、地域社会の中での役割を感じることで、さらに輝いて生きれるのだと思う。

### Group5：他の部からのベテラングループ

- ・ワイズとYMCAの協働が大事で、共通のプログラム作りから始めるべきかではないか。
- ・そのためにも、各地域の会員増強が必要だという結論となった。
- ・一方で、少ないメンバーでも楽しく行うことや、ワイズもブランディングが必要か、という意見もあった。

### Group6：メネット

- ・メネット会員は関東東部内で15名いる。しかし、内訳は12名が江東、グリーン2名と江東中心。
- ・埼玉クラブの歌声クラブとの連携の為に、埼玉クラブにも行きたい。
- ・メネットでは国際プロジェクトなども学べ、良い集まりだが、活動で心が変わるかは分からない。



ワイズソングを交えたレス&ギルコンサート



記念品と共に各クラブ会長による記念写真

### 3.2. 評議会報告

#### ○第1回関東東部評議会報告

2016年7月23日、東陽町センター視聴覚室  
出席有権者数 39名

- ・今年度の活動計画について、部長から各事業主査、各クラブ会長、部書記、及び部会計の順で説明を行う。
- ・議事  
第1号議案：提案者 片山啓部長  
提案名 2016-17年度関東東部の部長方針、事業計画の承認の件  
挙手多数で承認  
第2号議案：提案者 鈴木雅博直前部長  
提案名 2015-16年度会計決算及び監査報告書承認  
挙手多数で承認  
第3号議案：提案者 片山啓部長  
提案名 2016-17年度予算案の承認の件  
今期は単年度黒字で終える予算を組む  
挙手多数で承認  
(添付資料-4 関東東部会計報告参照)  
第4号議案：提案者 片山啓部長  
提案名 東日本区定款見直し委員会設立に向けた委員推薦の件  
提案内容：議場にて自薦・他薦を受け付けたい。その上で、特にない場合には、議長団側として推薦候補の承認を受けたい。  
挙手多数で承認  
議長団側として、青木一芳氏を推薦  
拍手多数で承認

#### ○第2回関東東部評議会報告

2016年11月19日、東陽町センター視聴覚室  
出席有権者数 28名

- ・今期の活動報告について、部長から各事業主査、及び各クラブ会長の順で報告を行う。
- ・議事  
第2回より、審議事項以外に協議案について協議を行う時間を確保することとした。  
第1号協議案：提案者 上松寛茂埼玉クラブ会長  
協議案名 クラブ会費の削減策について  
協議趣旨 埼玉クラブでは新会員を増やすことで最大のネックになっているのが5万円の会費問題である。ワイズの経費削減を検討すべきではないか。  
協議総括 他のクラブでも、さらに低額な会費でクラブを維持しているところもある。部会の場ではなく、まずはクラブ内で会計について確認と検証を行うことが優先されるのではないか。  
第2号協議案：提案者 長尾昌男次期部長  
協議案名 次期関東東部役員(事業主査)選出の件  
協議趣旨 次期主査を以下に考えている件。  
事業主査 選出クラブ  
地域奉仕 所沢クラブ  
会員増強 東京ひがしクラブ  
国際・交流 東京ベイサイドクラブ  
ユース 茨城クラブ  
メネット 調整中  
協議総括 協議の場で詳細な検討はできない為、今後、個別に各クラブと調整を行う。

#### 第3号協議案：提案者 片山啓部長

協議案名 東京ベイサイドクラブ CS 事業資金支援給付報告と CS 活動の紹介

#### 協議趣旨

東京ベイサイドクラブより新規事業「ミニチャリラン&ゴミラン」の申請があり、CS 事業資金支援委員会で申請内容を精査し、本クラブへの支援金として金 50,000 円を関東東部より給付することを可決した。

ここに、その報告と同クラブから活動内容の説明をおこなうことで、関東東部内のクラブによる活動としての共有理解を図りたい。

#### 協議総括

東京ベイサイドクラブより新規事業「ミニチャリラン&ゴミラン」の報告を受け、今後の同事業を関東東部全体での支援することを確認。

#### 第1号議案：提案者 片山啓部長

提案名 2016-2017年度関東東部書記交代の件

提案内容 部の書記の稲本修一氏だが、ご家族の事情により土谷明男(茨城クラブ)への交代について承認をして頂きたい。

挙手多数で承認

#### 第2号議案：提案者 長尾昌男次期部長

提案名 次々期関東東部部長選任の件

提案内容 2017-2018年度次期関東東部部長に、衣笠輝夫氏の承認をお願い致します。

挙手多数で承認

#### 第3号議案：提案者 片山啓部長

提案名 関東東部のメーリングリストの運用開始に関して

提案内容 関東東部の会員メーリングリスト(kyscom)の運用開始の承諾を頂きたい。  
挙手多数で承認

#### ○第3回関東東部評議会報告

2017年4月15日、東陽町センター視聴覚室  
出席有権者数 30名

- ・今期の活動報告と課題について、部長から各事業主査、及び各クラブ会長の順で説明を行う。
- ・議事  
第1号協議案：提案者 片山啓部長  
協議案名 ユース支援金に関する部則改定に関して  
協議趣旨 ユースの活動に対し他の部においては、部からも規定により支援をしているが、関東東部では同様の規定がなく、参加者の不平等に繋がっている。  
今後、部則改定に向けて、事前ご意見をお聞かせ頂きたい。  
協議総括 今後、以下の内容で部則を改定していく。  
・ユース支援基金を設け、同基金内で支援を行う。基金額の上限は5万円とする。  
・支援は、申請額に応じて行うが、残金は次年度に繰り越し、次年度は5万円に不足する額を予算計上する。  
・支援金は、国内・海外共に1万円とするが、応募多数の場合には、基金内で等分とする。  
第2号協議案：提案者 片山啓部長  
協議案名 30周年記念事業積立て

協議趣旨 “30周年記念部会積み立て基金”を設立し、毎年2万円を積み立てることで、10年後には20万円の資金の備えが可能となる。

協議総括 次期の予算で検討を行うことを確認。

第3号協議案：提案者 片山啓部長

協議案名 部会員全員へのアンケートの実施

協議趣旨 例会や評議会で、言いたいことを十分に部に伝えることができなかったという意見も届いている。このため、アンケートの内容は、部が原案を作成し、各クラブに配信し意見を求めた上で、実施を予定している。

協議総括 クラブの意見を求めず、部で作成配信することを確認。

第1号議案：提案者 辰馬行男東京北クラブ会長

提案名 国際ユースコンボケーション支援金補助の要請

提案主旨 当クラブから国際ユースコンボケーションの参加者として清泉YMCAの平川真友美さんが承認された。関東東部に補助金30,000円を申請お願いしたい。

挙手多数で承認

第2号議案：提案者 長尾昌男次期部長

提案名 関東東部次期役員承認の件

提案主旨：

2017-2018年度関東東部役員について、以下のご承認を頂きたい。

部長	長尾 昌男 (千葉クラブ)
直前部長	片山 啓 (茨城クラブ)
次期部長	衣笠 輝夫 (埼玉クラブ)
書記	青木 一芳 (千葉クラブ)
会計	徳永 浩一 (千葉クラブ)
地域奉仕事業主査	東 裕二 (所沢クラブ)
会員増強事業主査	金丸 満雄

(東京ひがしクラブ)

国際・交流事業主査	吉田 公代 (川越クラブ)
ユース事業主査	衣笠 輝夫 (埼玉クラブ)
メネット事業主査	布上 信子

(東京グリーンクラブ)

挙手多数で承認

第3号議案：提案者 長尾昌男次期部長

提案名 次期の東日本区代議員の人数と選出の件

提案主旨 東日本区定款第6条第5項より、2016-2017年度関東東部部長の片山啓氏1名を東日本区代議員に選出したいのでご承認を頂きたい。

挙手多数で承認



第1回評議会集合写真

### 3.3 EMC委員会協議記録

#### ○第1回関東東部会員増強事業合同委員会協議記録

日時：2016年9月3日(土) 17:30~20:10

場所：東京YMCA東陽町センター多目的室

クラブ出席者：(敬称略)

辰馬行男(北、村杉さんの代理)、長尾昌男(千葉、倉石さんの代理)、佐野守、浅見隆夫(グリーン)、金丸満雄(ひがし)、柳瀬久美子(茨城、土谷さんの代理)、小松重雄、相川(江東)、上松寛茂(埼玉、小峰さんの代理) 吉野勝三郎(川越)

欠席者：小関京子(所沢クラブ、ただし、発表用資料は提出)、峯岸通孝(ベイサイド、ただし、発表用資料は提出)、

特別出席者：片山啓関東東部部長(記録)、藤井寛敏・各クラブのEMCに対する現状と方針

江東クラブ

- ・25名いるが、半分程度しか動かないので、30名は確保したい。

- ・幼稚園の父兄が多い、ただ、ワイズが十分に理解されていない。

- ・RBMなどの運動をしていることをPRはしているが、これだけでは不十分のようだ。

- ・ワイズガーデンなどにも、園の子供や父兄にも参加を促し、会員増強を目指すのがうまくいかない。

千葉クラブ

- ・例会への参加は9名/13名という状況

- ・地道に父兄にPR

- ・YMCAのスタッフが不足していて、ワイズとの協力が難しい。

- ・リーダーOBがワイズにつながらない。今後に期待をしたい。

東京グリーン

- ・CSの神田川を行っているが、新しいガイドに声掛けをしている。

- ・YMCAはわかるがワイズとなると理解して頂けない。YMCAとワイズの関係からのPRが必要か。

- ・会費を7万から6万に下げた。

- ・会費やワイズが何か浸透されていないので、誘いにくい。しかし、例会に来て頂いて良さを知って頂ける。もしくは、ワイズの行事に参加して頂くことが良いので、発掘していきたい。

- ・若い人は、ワイズには仕事上忙しくて入れないのではないか。

- ・チラシを作り、世界的に活動をしているクラブであることをアピールしている。

埼玉クラブ

- ・YMCAで例会をしておらず、主事がきていない。

- ・6名の内1名は10年ぶりの出戻り者が与えられたが、最近2名昇天した。

- ・参加者が少ないので卓話者を依頼しにくい。例会が雑談か協議だけになっている。

- ・歌声集会で、地域の独居老人を誘うが、教会関係者のつながりが多い。女性ばかり20~30名。

- ・最近辞めた人も、会費5万円が無理で辞めざる負えない。

- ・ワイズの会費は安くする必要があるのではないか。

北クラブ

- ・メネットを会員にして10名を保持している。

- ・9年会新しい人が入らない。クラブ内の仲が良い

ので、勧誘に対する熱意が足りないのか。

- ・団子が食品衛生上、売ることができなくなってきた。他のクラブのアイデアを聞きたい。
- ・会費を下げたが増えない。だから、それが原因ではないのでは。

#### ひがしクラブ

- ・実質 9 名
- ・ひがしも仲良しクラブできて、会員増強に力をいれていなかった。
- ・会員増強よりも楽しいクラブとしている。
- ・謝礼なしでお願いできる講師を選んでいる。
- ・2 次会を中心にしてきたが、入っても長続きしない傾向がある。
- ・ピース活動として空襲を覚えた活動をしているが、入会に続かない。

#### 川越クラブ

- ・連絡主事を会員にする方向で考えているが、連絡主事の扱いが統一されていないので、現在検討中。
- ・YMCA の中にワイズの PR をできる掲示板コーナーをつくり、ブリテンや活動を紹介している。
- ・YMCA に来ていた親をターゲットにしたいが、効果のあるタイミングを慎重に検討している。

#### 茨城クラブ

- ・会費 2,000 円/月、食事 1,000 円、スマイル 1,000 円で活動しているが、献金が不十分
- ・今まで茨城は忙しい方が多く、クラブから外に出る活動が少ない。
- ・例会での楽しさが足りないか。
- ・ゴルフ大会は長く行っているが、ここから会員になった人は柳瀬さん 1 名しかいない。

### ○第 2 回関東東部会員増強事業合同委員会記録

記録：金丸満雄

日時：2016 年 11 月 19 日（土）10:00～12:00

場所：東京 YMCA 東陽町センター218 号室

出席者（敬称略）

片山啓関東東部部長、柿沼敬喜会員増強主査  
相川達男・小松重雄（江東区）、長尾昌男（千葉）、  
浅見隆夫・佐野 守（グリーン）

上松寛茂（埼玉）、村杉克巳（北）、大澤和子（所沢）、  
金丸満雄（ひがし）、

柳瀬久美子（茨城）、峯岸友彦・小林正輝（ババ）

欠席者：川越クラブ（発表資料提出）

- ・アンケート事項の発表

「第 1 回 EMC 合同委員会に於ける各クラブ実施課題」について、会員増強における課題の絞込みアンケート事項の回答が各クラブより発表された。

- ・各クラブ発表による集計結果

#### 1) 会員増強活動について

① 会員増強の対象者を層別して（例：YMCA に通う子供の親、リーダー O B、教会関係者、定年退職者など）、対象グループ別に対策の検討が必要。  
→ 6 クラブ選択

② 例会へのゲストおよび C S 事業や YMCA の各事業等への協働者として、より多くの参加者を求めるために、リピーターを増やす何らかの策が必要。  
→ 1 クラブ選択

③ あらゆる機会に「ワイズ理解」をもっと広くかつ深める手法が必要。

→ 4 クラブ選択

④ 会員個人とクラブが一体となって組織的な取り組みを強化することが必要。

→ 3 クラブ選択

⑤ クラブ年会費が入会のネックになっているのでは。

→ 2 クラブ選択

⑥ その他

→ なし

#### 2) 維持啓発活動について

① 新入会員（入会 3 年間）については、特別にフォローしていく策が必要。

→ 3 クラブ選択

② YMCA についての理解不足が退会の要因。

→ 6 クラブ選択

③ クラブ年会費の個人負担への低減を計る。

→ 2 クラブ選択

④ その他

→ 3 クラブ選択

#### 3) クラブ拡張活動について

新クラブ設立に推奨したい地区

① 浦安地区 4 クラブ選択

② 柏地区 6 クラブ選択

③ 船橋地区 1 クラブ選択

④ 越谷地区 2 クラブ選択

⑤ 春日部地区 なし

⑥ 茨城県内 2 クラブ選択

⑦ 流山地区 2 クラブ選択

- ・閉会挨拶：柿沼主査

皆さんにお願いしたいことは、上位課題を念頭におきながら各クラブの活動に取り組んでいただきたいです。クラブ拡張については、まずは上位の浦安・柏の千葉 2 地区が選択されました。今後千葉 YMCA を中心として、柏地区には→千葉クラブ & グリーンクラブ、浦安地区には→江東クラブ & ベイサイドクラブが担当窓口になっていただき、部が一体となって設立に向けた行動をお願いいたします。

### ○第 3 回関東東部会員増強事業合同委員会記録

日時：2017 年 4 月 1 日（土）10:00～12:00

場所：東京 YMCA 東陽町センター218 号室

出席者（敬称略）

片山啓関東東部部長、柿沼敬喜会員増強主査  
藤井寛敏、相川達男・小松重雄（江東区）、長尾昌男（千葉）、浅見隆夫・佐野 守（グリーン）、上松寛茂（埼玉）、村杉克巳（北）、大澤和子（所沢）、金丸満雄（ひがし）、柳瀬久美子（茨城）、峯岸友彦・小林正輝、佐竹誠（ババ）、松川厚子（川越）

欠席：なし

#### 1) 会員増強事業報告（柿沼主査）前回の総括

- ・会員増強事業

会員増強対象者を層別して、対象グループ別に対策を立てると共にあらゆる機会に「ワイズ理解」をもっと広くかつ深めることにも会員個人とクラブが一体となって組織的に取り組みを強化することが必要。

- ・維持啓発活動

YMCA についての理解不足が退会の要因になら

ないように努めると共に新入会員（入会 3 年間）  
に対しては、特別のフォローをしていく策が必要。

・クラブ拡張

クラブ拡張については、まずは上位の浦安・柏の  
千葉 2 地区が選択されました。今後千葉 YMCA  
を中心として、柏地区には→千葉クラブ&グリー  
ンクラブ、浦安地区には→江東クラブ&ベイサイ

ドクラブが担当窓口

2) 各クラブでの活動報告と計画

東京江東クラブ

・目標に対する EMC 活動

12 月に RBM の説明会を行い、父兄とワイズの理  
解を深めた

スキーキャンプに参加しワイズをアピール

・今後の EMC 活動計画

会社員ではなく、個人的なつながりで拡張したい  
地域奉仕と会員増強はリンクしている。この活動  
に理解して頂ける方を求めているし、その姿を見  
て入りたいと思う方に期待したい。

・クラブ拡張の重点地区への報告

特になし

千葉クラブ

・目標に対する EMC 活動

毎月多くのイベントがあるが会員増強にはつな  
がらない

・今後の EMC 活動計画

7 月に 1 名の増加はあるが、その後、高齢者が減  
りそう

・クラブ拡張の重点地区への報告

柏クラブ OB にも連絡を取ったが難しいとのこと。  
新しい主事と相談しながら進めたい。

東京グリーンクラブ

・目標に対する EMC 活動

船の会を対象に勧誘中だが、ボランティア団体が  
増えている。

将来的に長い目で PR していきたい。

YMCA のボランティアに参加をして頂き、YMCA  
やワイズを知って頂くことが良いのでは。

目的を持った活動には、興味をもって参加をして頂  
ける方が多い

埼玉クラブ

・目標に対する EMC 活動

担当主事が一度も例会に参加をしないため、  
YMCA の報告も受けられない。

歌声集会を続け、20~30 名程度参加するがつな  
がらない。

→年に数回、旅行をしているが、ワイズより会  
員以外の方が中心になり、ワイズの活動には  
なっていない。

→結果、彼らはワイズに入る理由がない。

5 万円の会費で辞める方もいる。

・今後の EMC 活動計画

会費の問題を検討するところから始めようとし  
ている。

東京北クラブ

・目標に対する EMC 活動

4 名で高齢化している。

ユースとのつながりを大事にしている。

所沢クラブ

・目標に対する EMC 活動

地域の社会奉仕団体との交流

YMCA の活動で興味を持った方で、入る方がいる。  
5 人の常連者がいるので、なんとかしたい。

・70 代の高齢者の方は誘いにくい。

東京ひがしクラブ

・今後の EMC 活動計画

70 代をターゲットにした活動をしていきたい  
身近なところから勧誘したい

川越クラブ

・目標に対する EMC 活動

センターの中に掲示板を作ってもらった。

YMCA のスタッフ増えて関係強化になった。Y  
MCA との関係強化が大事

・今後の EMC 活動計画

卓話に呼んでほしい方がいる。まだ若い、ワイ  
ズにははいっていない

女性で入りそうな方、利根川さんの夫も、期待で  
きる。

茨城クラブ

・今後の EMC 活動計画

リーダーOB と連携をもち動き出したい。

東京ベイサイドクラブ

・目標に対する EMC 活動

チャリティーラン参加者へ誘ったが参加者なし。  
2 名の退会者、さらに、3~4 名連絡とれない。

卒園と共に退会する方が多い。

→子供園の会になっており YMCA のサポ  
ート団体との意識が薄い

活動内容で、たまたまの親父の会ではないことを理解  
してもらつつある。

・今後の EMC 活動計画

4 月の入園式で PR、新歓バーベキューでアピ  
ールしたい。

1 月~3 月はサラリーマンが忙しいので、平日の  
活動をできる方を入れたい。

時間がない中で、どのようにこの集まりに参加を  
するのか、課題にある。その中で、YMCA やワイ  
ズの理解を深めたい。

会員増強に向けて

・今回の 3 回の協議をとおして、クラブ個々  
事情や、会員個々のワイズや YMCA に期  
待するものが違うことが、良く分かった。

・この違いを、見つめ合い批判しあうこと  
は、ワイズのすることではないだろう。

・むしろ、個々の違いを認め合いながら、  
共に協力をし、成長をさせて頂く、こと  
がが今年度の活動方針の目指すところで  
あった。



### 3.4 ユース例会活動記録

関東東部では、青木主査の発案により 10 のクラブそれぞれが 2016 年 10 月から翌 17 年 3 月までのどれかの例会を「ユース例会」と銘打って、ユース事業への認識・関心を高める機会とした。具体的な内容は次のとおり(開催順)。

10 月 7 日 茨城クラブ

台北 IYC 参加のユース末永実花さんの報告を聞く。



10 月 8 日 千葉クラブ

リーダーズフォーラム参加のユース関口優子さんの報告を聞く



11 月 10 日 東京ひがしクラブ

大澤和子氏(所沢)列席、東裕二氏(所沢)の「夢ハウス食堂について」の卓話により子供の居場所の問題を学ぶ



11 月 16 日 東京グリーンクラブ

壇上氏(立教大学 Y)・大崎氏(一ツ橋大学 Y)列席  
浅羽俊一郎氏(東京山手)の「ユース事業について」の卓話により本事業を展望する



11 月 17 日 東京江東クラブ

リーダー9名・他クラブビジター・江東幼稚園保護者列席。リーダーズフォーラム参加のユース粉川美乃里さん・篠田樹乃さんの報告と全国リーダー研修会参加のユース大木さんの報告を聞く。



11 月 26 日 東京ベイサイドクラブ

衣笠輝夫氏(埼玉)列席  
石川昌紀氏(東京家政大学)の卓話「若者の自分探しと年長者の関わり」を聞く



11 月 28 日 埼玉クラブ

リーダーズフォーラム参加のユース木下遥七さん・立岡壮太君の報告を聞く



12 月 17 日 川越クラブ リーダーズフォーラム参加のユース木下遥七さんの報告を聞く



1月14日 所沢クラブ リーダー10名列席(うち2名の成人式を祝う)

全国リーダー研修会参加のユース近山さん・佐藤さん・島田さん・岩崎さんの報告とリーダーズフォーラム参加ユース立岡壮太君・太田崇仁君・木下遥七さんの報告を聞く



3月15日 東京北クラブ

清泉女子大学 Y ユース初村有希子さん・越智文香さんのインドスタディーツアーの報告と学 Y の年間活動の報告を聞く



(注) IYC は国際ユースコンボケーション(国際大会併催のユースの集い)  
リーダーズフォーラムの正式名はユースボランティアリーダーズフォーラム(YVLF)

全クラブユース例会一覧

クラブ名	実施日	内容
東京江東	11/17(木)	リーダーズフォーラム報告+リーダー理解者増強
千葉	10/8(土)	リーダーズフォーラム報告
東京グリーン	11/16(水)	ユース事業理解の卓話(浅羽氏ほか)
埼玉	11/28(月)	リーダーズフォーラム報告
東京北	3/15(水)	清泉YMCA報告
所沢	1/14(土)	新成人リーダーを祝う会
東京ひがし	11/10(木)	所沢クラブ「夢ハウス食堂」(子ども食堂)への取り組み
川越	12/17(土)	クリスマスをリーダーと共に祝う
茨城	10/7(金)	国際ユースコンボケーション参加報告
東京ベイサイド	11/26(土)	ユース事業理解の卓話(衣笠氏ほか)

## 個別のご意見

### 1. クラブの活動に関して

例会の活性化に向けた良いアイデアがあればお聞かせください。

スマイルの工夫

出席率を上げるために曜日や時間を決めないで出席可能人数が多い日に実施し始めた役員同様、全ての場面で同一人物ばかり負担が掛かり、ワイズ活動を楽しむ余裕が無い様に思います。

卓話者が興味のある方だと人を誘いやすい

聞いてよかったと思えるような卓話。

例会に出席したクラブメンバー全員に必ず1分間スピーチ（近況報告等）をして貰うYMCAの歴史や意義、活動、在り方などを幅広く学ぶ必要がある。

例会での集まりが、宅話だけではなく皆さんとの楽しい交流場にすることが大事かと活性化に向けては、若い会員が入会できるための地域奉仕活動がほしい

### 2. 会員増強事業に関して

会員増強に向けて、何か良いアイデアがあればお聞かせください。

60代70代はまだまだ活力十分蓄えているので有力な候補とする

ヤングメンバーが少ない昨今、入会年数に応じた補助制度を制定してはどうか

若手の増員を求めるのであれば、会費も検討課題ですし、家庭環境など時代背景を考慮する必要が有ると思います。現在、増員のターゲットが不明瞭。

会員増強のためのチラシ or 冊子（PDF版）があると、紹介のハードルが下がると思います。また、思い切って会員1年目は会費を無料とすることもひとつの手と考えます。

楽しいと思える活動をする

全員が本気になること。

西日本区、特に京都地区などはどうしてあんなに活発なんだろう???

各クラブのメンバーは最低1名/年の入会候補者を例会やクラブ行事に招くことに努める。

YMCAの会員・職員にワイズに対する偏見があり、その解消なしには会員増強はない。

高額な会費の支払いが会員増強の障害になっており、そこを配慮した活動に誘う方向で対応。

クラブの活性化が必要か

YMCAの強みは野外活動（キャンプなので）子どもがいるファミリー世帯を増やし、そのメリットとして自分の子供が海外の国内・海外の野外活動に無償で参加できるなど。

地域のためになる互に・一緒に・快くの活動を見つけたい

### 3. CS活動に関して

CS活動を、より楽しく活性化させるためのアイデアがあればお聞かせください。

YMCAスタッフ、地域の方々により多く参加して頂くことで活性化するのでは

親しみやすい活動

地域社会の人達と協働型のプログラム作り

YMCAの地域社会奉仕としてふさわしいが職員の手が届かないところをワイズが実践する。

地域との交流、連携を深める。

YMCAとの合同プログラムで企画を進めたらどうか。

クラブ全体でできるCS活動を考案すべきでは？例えば地域のクリーン作戦など

教会を中心としたプログラム開発がいちばんいいと考えます。

### 4. ユース活動に関して

ユース活動をより効果的に行うためのアイデアがあればお聞かせください。

ユースもワイズ活動に参加するようする（CS事業などに）

当クラブにはサポートするユースが居ないので他クラブからユースを派遣してもらおうと理解につながるのでは

事業委員中心の折角のプログラムなどが、ワイズ内での理解に欠けていると思います。

ユースも忙しいみたいなので、ユースの活動の一部としてワイズと一緒に出来るものがあると良い

若者がYMCAに関心を抱き、居場所づくりを手助けできるような対策を実行する。

リーダーを例会に呼びリーダー会にもワイズが参加できるような関係になれたらと思う

各クラブの地域の大学との連携をより強化できるように対応が必要

例会や東京YMCAの行事に参加していただく

### 5. 国際事業に関して

国際事業の理解と充実に向けたアイデアがあればお聞かせください。

献金が本来の用途に正しく使われているのか、効果的だったかの結果が不透明、

数値より写真などで見たい

具体的にどのような効果につながっているのか把握できるレポートやチラシがあれば良いと考えます。

広報と現場への訪問。現場に行ってみると支援のすばらしさがよくわかる。

YMCA を舞台に日本に滞在する外国人との何らかの交流の企画を考え実行する。

献金について十分に理解がされていない。国内でも国際協力をできるものがあるのでは。身近に無いので、なかなかアイデアが出ない。

#### 6. メネット事業に関して

メネットの活性化に向けたアイデアがあればお聞かせください。

ボランティアなので本人の意思で自ら参加しない限り続かないので無理に誘う必要はないと思う

メンの活動が充実すれば、メネットの関与の仕方も変わると思います。

宗教色を取り除くことが必要と考えています。

ワイズの運動、メンもメネットの活動も人生、生き甲斐の一部と心得ている。

各クラブの行事として年1回家族インビテーションデーを設ける。

メネットの時代は終わった。余力ある女性は会員になって一緒に活動するのがよい。

まずはパートナーへの誘いの働き掛けが必要。

パートナーの理解と協働は重要だ。まずは、ワイズを理解して頂くことがスタートか。

東京北クラブはメネットがメンバーになったので、メネットの活性化は考えていません。

#### 7. その他

ワイズの活性化に向けた良いアイデアがあればお聞かせください。

ワイズを再確認し理解を深め、そして新しいプログラムを考える。

時間が無い中でワイズ、クラブを存続するためには報告だけの無駄な会合や分かりにくい書類はどんどん削減すべき

今期、部の集まりにほぼ参加出来ず恐縮ですが、引き続き宜しくお願ひします。

各人が過度な負担とならない範囲内で、やれることを積み重ねていくしかないと思います。

区をあげての戦略が必要。それがどのようなものかはこれから模索。

東京の場合は東京 YMCA の運営方法が問題ありそう。他の YMCA を見習ってみては、

YMCA のブランディングの成果の波及効果をワイズに取り入れる。

東山荘、富士山ビレッジ、山中湖キャンプ場など YMCA 施設を利用したワイズ活動の盛り上げが必要。

YMCA との連携を強化しつつ独自の活動も進め、YMCA から期待される組織作りが肝要か。

今一度会員のメリットを考えるべきでは？

新しいコトを考えたいが、メンバーが減少していくので、エネルギーが薄れていく。

#### 4. おわりに

部報の準備初めて、ずいぶん時間が経過してしまい、とうとう 11 月になってしまった。この間、新たな期を迎え、今期より参加をしているワイズ YMCA パートナーシップ委員会や LT 委員会による次期部長主任研修会などにも参加をしてきた。そして部報も発行していないのに、今期の部会への参加や前期のエルマー・クロウ賞（最優秀部長賞）を受賞させて頂くなど、恐縮至極であった。

しかし、ようやく 11 月を迎え、前期の部報を発行できることとなり嬉しい限りだ。まだまだ、追加や修正をしたい個所もあるものの、このままでは、今期の第 2 回評議会や次々期の部長候補の選出も始まってしまうため、急ぎ発行をさせて頂く。確認が不十分な点多々あると思うがお許し頂き、今後の参考になる箇所に着目して頂ければ幸いである。

関東東部には、明るい未来があること確信した 1 年であった。今後の関東東部のさらなる発展を期待しつつ、皆さまの大事な関東東部の一員として、これからも共に成長をさせて頂ければと切に願うものである。

16-17 年度 関東東部部長

片山 啓

— 參考資料 —

170731

関東東部 卓話奉仕者リスト

卓話テーマと概要		お名前	クラブ名
1	「我が国の海外援助業務の実際」あまり知られていない海外での国際援助業務の苦労話 「橋の世界」海外を中心にした橋梁や国内の橋に関する話題 「小さい教会で育て」高校生まで家族と共に小さい教会に通っていた頃の苦労と感謝 「YMCA リーダー時代の思い出」鎌倉 YMCA で出会った子供たちやリーダー、YMCA スタッフのお話	片山 啓	茨城クラブ
2	卓題 易しい数のはなし 内容 大きな数、小さな数、素数には限りがない、おもしろい数列、など。 卓題 易しい図形のはなし 内容 地図の塗り分け、路線図を読む、配線問題、スプラウト必勝法、など。 卓題 世界のワイズさまざま 内容 韓国のワイズ、インドのワイズ、北欧のワイズ、など。	青木 一芳	千葉クラブ
3	学生時代、埼玉YMCA川越センターのボランティアリーダーとして大いに活躍した。アメリカのYMCAのキャンプ場へ2回行く。卒業後、日本市場の開拓期のスターバックスに入社し、現在は、日本人の本社に勤務。 「現在の会社に就職して分かった、YMCAのボランティアリーダーとして学んだこと」 「コーヒーの歴史と楽しみ方」	今西 洋太*2	川越クラブの御紹介 (吉野勝三郎さんに 連絡)
4	「学童期の学習支援とその実際」～小学生の子どもたちの発達をしり、学習支援の仕方を考える。「子どもの心理と支援の在り方」～子どもを取り巻く大勢の大人たちに知ってほしい子どもの気持ち。 「生きづらさを抱える子どもたちとのかかわり方」～不登校やいじめ、学習障害などの子どもの生きづらさを知り、かかわり方を知る。 ソーシャルスキルトレーニング「自分を大事にする」～自分もOK. 相手もOK. のスキル練習	大澤和子	所沢クラブ
5	建築は、古民家の歴史、構造を中心にお話できます。 そのほか、補償コンサルをしていたので、建物の診断やリフォームの注意事項を講習していました。なお、セミナーでは、建物の耐震や地盤の注意、話をしていました。	三浦 雄二	埼玉クラブ
6	ジャーナリスト生活 40 年間の体験談。日本の森林・林業の現状について。	上松 寛茂	埼玉クラブ
7	「蛇の話」日本に生息する蛇の種類、蛇と健康・漢方のかかわり	浅見 隆夫	東京グリーン

\*注1. 卓話者への謝礼は不要ですが、交通費に関しては遠方となる場合もありますので、卓話者の方とご相談をして頂ければ幸いです。

注2. 川越クラブ紹介の今西洋太さんは、リーダー出身ですが会員ではありませんので、謝礼と交通費のご準備をお願い致します。  
追加修正がある方は、片山 ([kei391009@gmail.com](mailto:kei391009@gmail.com)) までご連絡ください。

## 添付資料-2 HPの編集報告

関東東部のHPは、これまでも公開されていたものの、会員向けの事務的なHPであったことから、会員以外のPR向けとして主に、以下のように構成を改めた。

- ・ワイズの紹介として、歴史や活動目的、会員構成などをまとめた（一部作成中）。
- ・各クラブのCSやEMC活動のサポートとして、各クラブの紹介ページを設けた
- ・クラブ行事をまとめたカレンダーを作成した。

### トップページ



### クラブの紹介ページ例



## 東京ベイサイドクラブ

2014年にチャーターした関東東部では最も新しいクラブです。しのめYMCAこども園とグランチャ東雲をサポートするクラブとして誕生しました。また着しく発展する湾岸地域のコミュニティ形成にも関わっていくクラブを目指しています。チャーター3年目となりCS事業の確立や問題点をクリアしながらスタイリッシュにカッコよく活動していきます。

### 主な活動

- ・例会は毎月4土曜の午前中、またはメンバーが多く集まれる日を選択し平日の夜など密着対応に行っています。12月には家族と一緒にクリスマス例会を行っています。
- ・毎月第二土曜、日曜に太陽のマルシェに出店しています。北海道十勝から仕入れた野菜やワインを販売し収益をこども園の遊具や絵本に還元しています。
- ・不定期で湾岸地域のゴミ拾いをこども園の職員、園児や保護者を巻き込んで行っています。ランニングや宝物集めなどの仕掛けを用いて、こども達が楽しみながら環境について学べるような活動をしています。
- ・しのめYMCAこども園秋祭りやグランチャ東雲秋祭りなどのサポートをしています。

### 例会の場所と日時







例会日時：第4土曜 8:00~12:00  
 例会場所：しのめYMCAこども園  
 〒135-0062 東京都江東区東雲1-9-46  
 TEL 03-5547-5388





### 添付資料-3 メーリングリスト活用状況

17年5月10日以降、95件の書き込みがあるなど堅調に利用されている。今後のさらなる有効活用が期待される。

メールの一覧(メール表示)					
添付	No.	投稿日時	件名	投稿者	返信
	95	2017/10/25 21:59	このメールは管理者により削除されました。	-	-
	94	2017/10/23 13:36	<a href="#">川越クラブ10月号ブリテンのお届け</a>	shirly92mam i...	<a href="#">返信</a>
	93	2017/10/18 21:20	<a href="#">【茨城クラブ】10月ブリテンアップロード、その他茨城Yイベント案内の件</a>	"村田 淳"	<a href="#">返信</a>
	92	2017/10/18 00:09	<a href="#">【関東東部】部報(第2号)と部会の写真をupしました。</a>	mjam.naga o...	<a href="#">返信</a>
	91	2017/10/17 23:50	<a href="#">【関東東部】第2回評議会開催のお知らせ</a>	mjam.naga o...	<a href="#">返信</a>
	90	2017/10/13 10:10	<a href="#">東京北クラブ10月ブリテンNo442東日本区に掲載</a>	"辰馬 行男"	<a href="#">返信</a>
	89	2017/10/03 20:55	<a href="#">FW: 5クラブ合同例会の案内 講演「歴史に学ぶ防災論:関東大震災は生きている」</a>	"酒向裕司"	<a href="#">返信</a>
	88	2017/10/03 14:12	このメールは管理者により削除されました。	-	-
	87	2017/10/03 13:15	<a href="#">Re: エルマー・クドウ賞(最優秀部長賞)受賞の御礼</a>	"Hirotooshi Fujii"	<a href="#">返信</a>
	86	2017/10/02 17:50	このメールは管理者により削除されました。	-	-
	85	2017/10/02 17:46	<a href="#">Re: エルマー・クドウ賞(最優秀部長賞)受賞の御礼</a>	"香取 良和"	<a href="#">返信</a>
	84	2017/10/02 13:24	<a href="#">エルマー・クドウ賞(最優秀部長賞)受賞の御礼</a>	片山 啓	<a href="#">返信</a>
	83	2017/10/02 11:51	<a href="#">【茨城ワイズ】9月ブリテンアップロードの件</a>	"村田 淳"	<a href="#">返信</a>
	82	2017/09/14 05:18	<a href="#">川越クラブ9月号ブリテンのお届け</a>	shirly92mam i...	<a href="#">返信</a>
	81	2017/09/11 17:35	<a href="#">東京北クラブ9月ブリテンNo441 Webサイトに掲載</a>	"辰馬 行男"	<a href="#">返信</a>
	80	2017/09/04 17:02	<a href="#">東京ひがしブリテン9月号</a>	まる	<a href="#">返信</a>
	79	2017/08/24 11:55	<a href="#">【茨城クラブ】8月ブリテンアップロードの件</a>	"村田 淳"	<a href="#">返信</a>
	78	2017/08/18 22:35	<a href="#">川越クラブ8月号ブリテンのお届け</a>	shirly92mam i...	<a href="#">返信</a>
	77	2017/08/15 16:32	<a href="#">【関東東部】(9/30)第21回関東東部部会のご案内</a>	mjam.naga o...	<a href="#">返信</a>
	76	2017/08/10 10:41	<a href="#">所沢クラブ・ブリテン17年7月号No347 8月号No348 Web掲載</a>	"毛呂教会"	<a href="#">返信</a>
	75	2017/08/09 10:08	<a href="#">東京北クラブ17年8月ブリテンNo440 Web掲載</a>	"辰馬 行男"	<a href="#">返信</a>
	74	2017/08/09 09:26	<a href="#">第9回 茨城YMCAチャリティーゴルフ大会のご案内</a>	片山 啓	<a href="#">返信</a>



## 2016-2017年度 関東東部 会計決算報告

(単位:円)

2016-2017年度 会計 井上恒久(茨城クラブ)

## 通常会計

収 入				
項目		予算	決算	差額
前年度繰越金		771,661	771,661	0
部費	¥2,000 × 会員数 134	268,000	268,000	0
部会分担金	¥1,000 × 会員数 134	134,000	134,000	0
東日本区補助金	100,000/部+ ¥300 × 会員数 134	140,200	140,200	0
ユースボランティア・リーダーズフォーラム負担金		200,000	200,000	0
雑収入 (利息13円 + 関東東部設立20周年記念事業 剰余金71円)		0	84	84
合 計		1,513,861	1,513,945	84

支 出				
項目		予算	決算	差額
印刷費		60,000	82,830	-22,830
通信費 ※1		8,000	3,530	4,470
事務費 ※2		0	3,456	-3,456
評議会経費 ※3	¥35,000 × 回数 3	105,000	15,880	89,120
部会補助金	¥1,000 × 会員数 134	134,000	134,000	0
部長活動費		50,000	50,000	0
書記・会計活動費	¥10,000 × 人数 2	20,000	20,000	0
主査活動費	¥20,000 × 人数 4.5	90,000	90,000	0
部事業費		0	0	0
メネット活動費		0	0	0
ユースボランティア・リーダーズフォーラム負担金/ユース支援金 ※4		200,000	230,000	-30,000
20周年史作成費		0	0	0
関東東部設立20周年記念事業費		0	0	0
災害支援募金 (東日本区)		100,000	100,000	0
予備費		50,000	0	50,000
次年度繰越金		696,861	784,249	(87,388)
合 計		1,513,861	1,513,945	-84

## 支出内訳

※1. 通信費・・・切手代

※2. 事務費・・・銀行手数料

※4. ユースボランティア・

リーダーズフォーラム負担金 ¥200,000

ユース支援金(東京北クラブ) ¥30,000

※3. 評議会経費

第1回 8,505

第2回 -12,354

第3回 19,729

計 15,880

# 2016-2017年度 関東東部 会計決算報告

(単位:円)

2016-2017年度 会計 井上恒久(茨城クラブ)

## CS資金

収 入				
項目		予算	決算	差額
前年度繰越金		347,445	347,445	0
クラブ拠出金	¥1,250 × 会員数 134	167,500	167,500	0
合 計		514,945	514,945	0

支 出				
項目		予算	決算	差額
支援金 (東京ベイイットクラブ、所沢クラブ)		150,000	80,000	70,000
事務費		5,000	864	4,136
予備費		50,000	0	50,000
次年度繰越金		309,945	434,081	(124,136)
合 計		514,945	514,945	0

## 関東東部設立20周年記念事業決算

収 入		
項目	(備 考)	決算
前年度繰越金	予算：¥200,000	200,000
部会補助金	予算：¥134,000	134,000
参加登録費	¥4,000×53名、¥3,000×9名	239,000
合 計		573,000

支 出		
項目	(備 考)	決算
会場使用料	つくばコンgresセンター	52,770
会場貸出備品費	つくばコンgresセンター	10,240
講師謝礼、交通費		25,000
記念品代	バナー¥69,984、台¥39,852	109,836
横断幕		9,000
事務費	資料印刷¥3,000、銀行手数料¥1,296	4,296
懇親会料理、飲物等	ホテルグランド東雲	336,787
懇親会ゲスト出演料	レス&ギル	25,000
剰余金 (通常会計の雑収入に繰入れ)		71
合 計		573,000

次年度繰越金	2015-16年度	2016-17年度
通常会計繰越金	771,661	784,249
CS資金繰越金	347,445	434,081
合 計	1,119,106	1,218,330

## 残高

みずほ銀行	1,218,300
現金	30
合 計	1,218,330

※この会計報告は、2017年7月15日に開かれた2017-2018年度第1回評議会に於いて承認されました。

ことを確認しましたのでここに報告いたします。

## 2016～2017年度関東東部 会計監査報告

2016～2017年度 関東東部会計決算を監査した結果、適正である  
ことを確認しましたのでここに報告いたします。



2017年 7月7日  
2016-2017年度 直前関東東部部長

鈴木雅博





2016-2017 年度  
ワイズメンズクラブ国際協会 東日本区  
関東東部部報 総集編

発行日 2017 年 11 月 10 日  
編 集 2016-2017 年度  
関東東部部長  
片山 啓 (茨城クラブ)